

競技の流れ

競技課題1

(20分)

緩衝材A 5枚×2

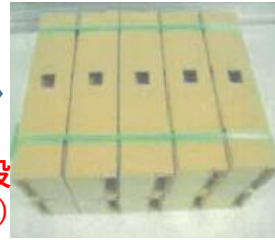


組立



結束

※上段
(下段)



※下段
(上段)

結束

緩衝材B 5枚×2



組立



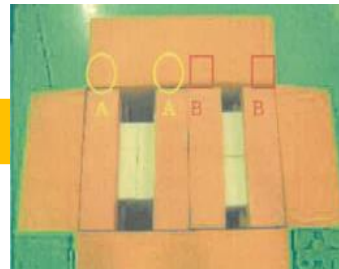
× 2セット

中間審査

完成・審査



(箱詰め完成×2セット)



緩衝材下段4・化粧箱4・緩衝材上段4 にて箱詰め



外箱(2枚)組立

競技課題2

(40分)

小箱(8枚)組立て商品を



組立



商品

中箱(8枚)組立て小箱を

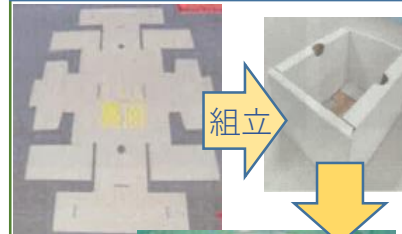


組立



小箱

化粧箱身(8枚)組立て中箱を



組立



中箱

化粧箱蓋(8枚)組立て化粧箱身に蓋



組立

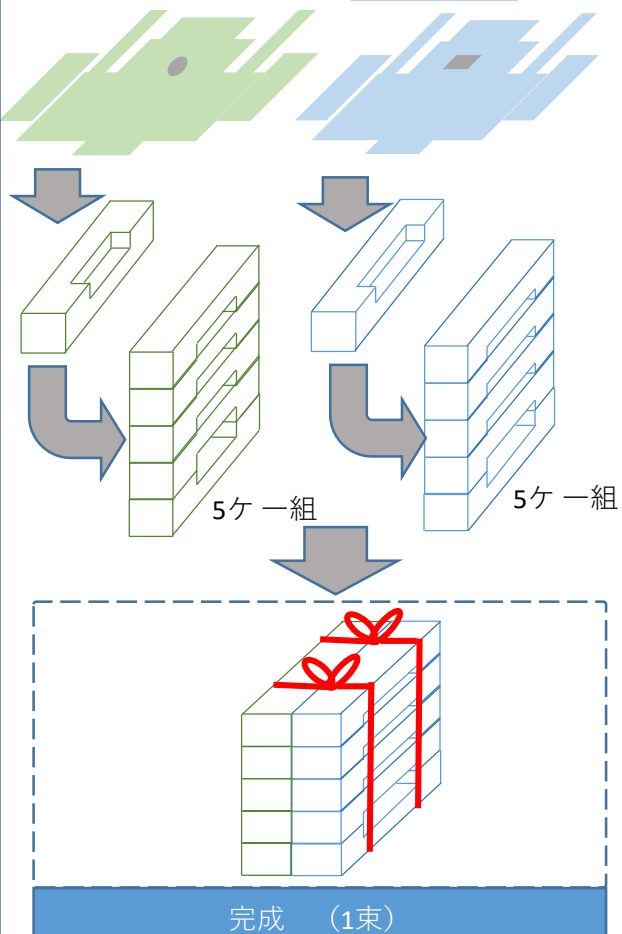


中箱

奈良大会 課題 1 (30分)

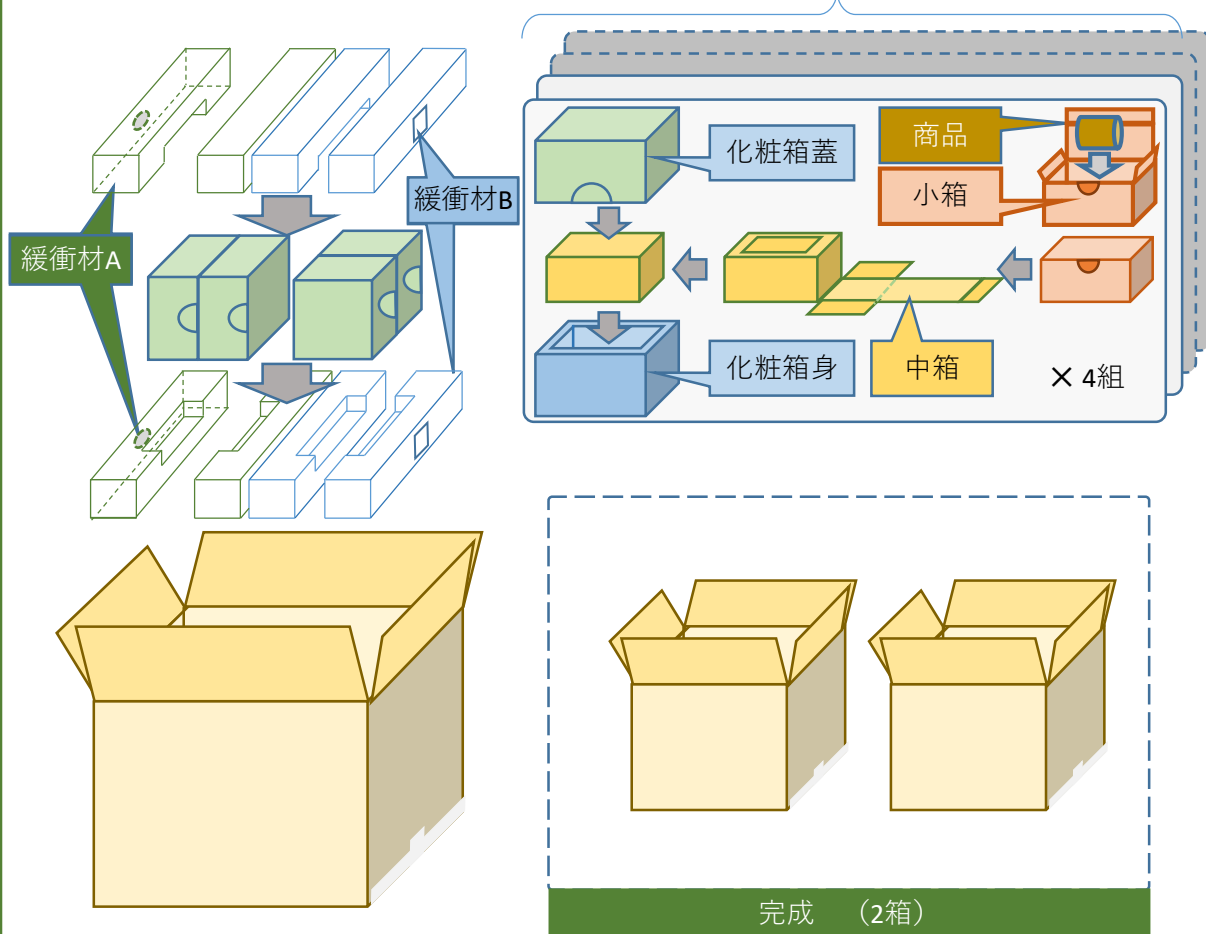
緩衝材A

緩衝材B

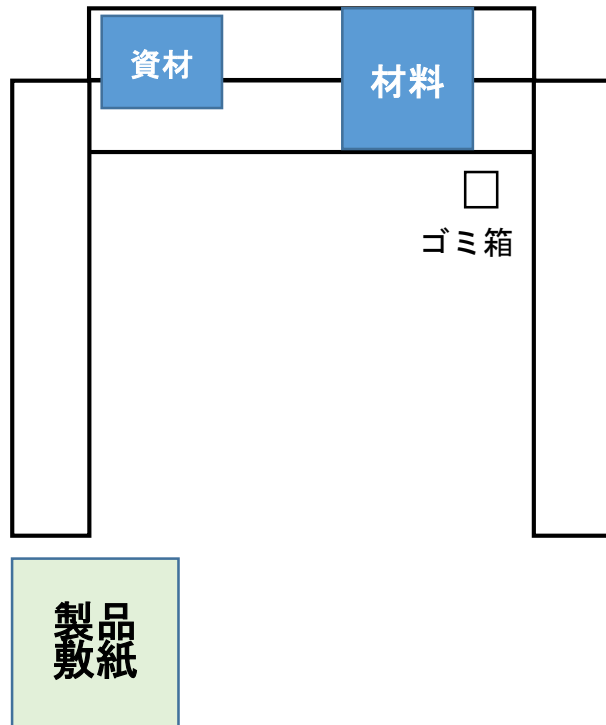


奈良大会 課題 2 (45分)

2セット



競技レイアウト



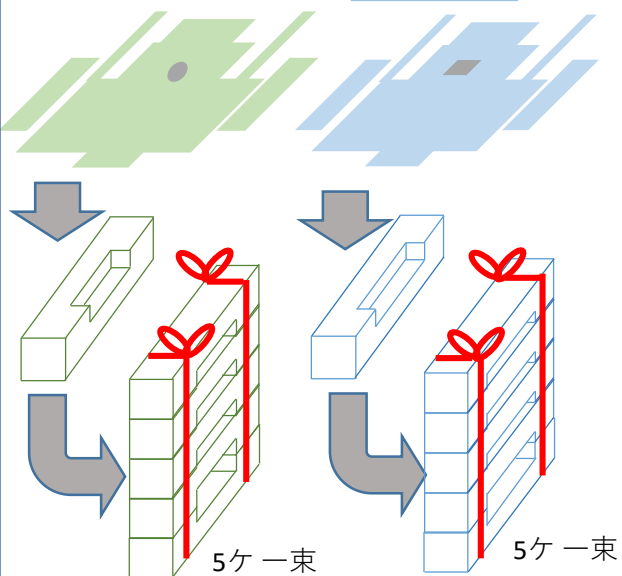
	材料名	数量	単位	備考
競技用材料	外箱	2	枚	
	小箱	8	枚	
	中箱	8	枚	
	化粧箱 身	8	枚	
	化粧箱 蓋	8	枚	
	緩衝材 A	10	枚	
	緩衝材 B	10	枚	
	商品	8	個	
資材	結束紐	1	巻	
	カッター	1	本	
	包装用テープ	1	巻	テープカッター付き
	製品敷紙	1	枚	課題 2 完成品を置く際に使用します

- 以下の資料は「全国大会」競技参考資料
- 実際には使用しない。
- 2025.3.13.

全国大会 課題 1 (30分)

緩衝材A

緩衝材B



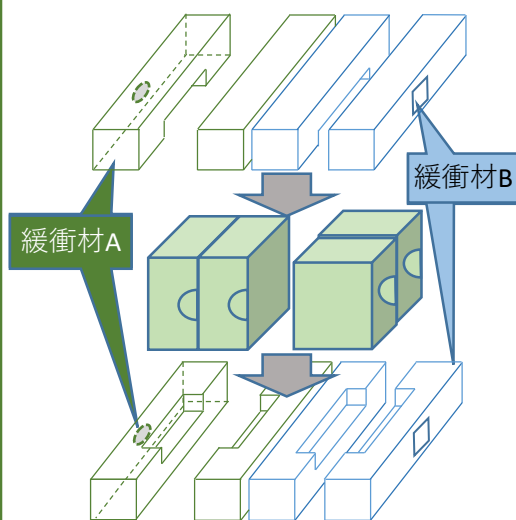
5ヶ一束

5ヶ一束

完成 (各5束)

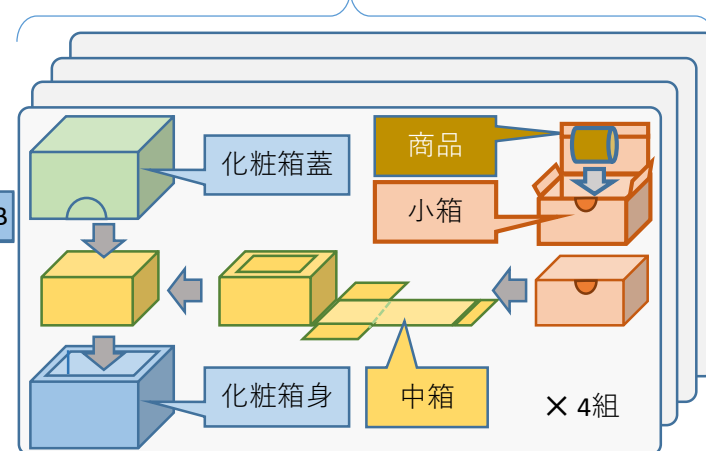
全国大会 課題 2 (60分)

4セット



緩衝材A

緩衝材B



化粧箱蓋

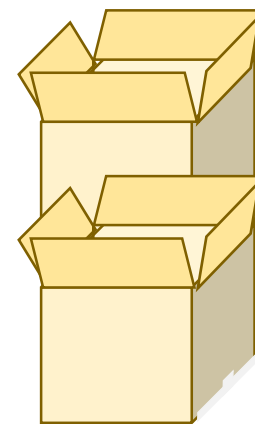
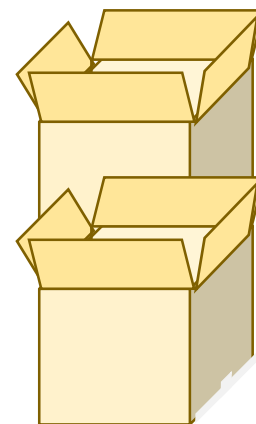
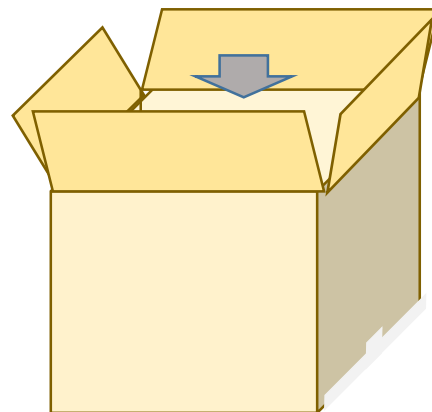
商品

小箱

化粧箱身

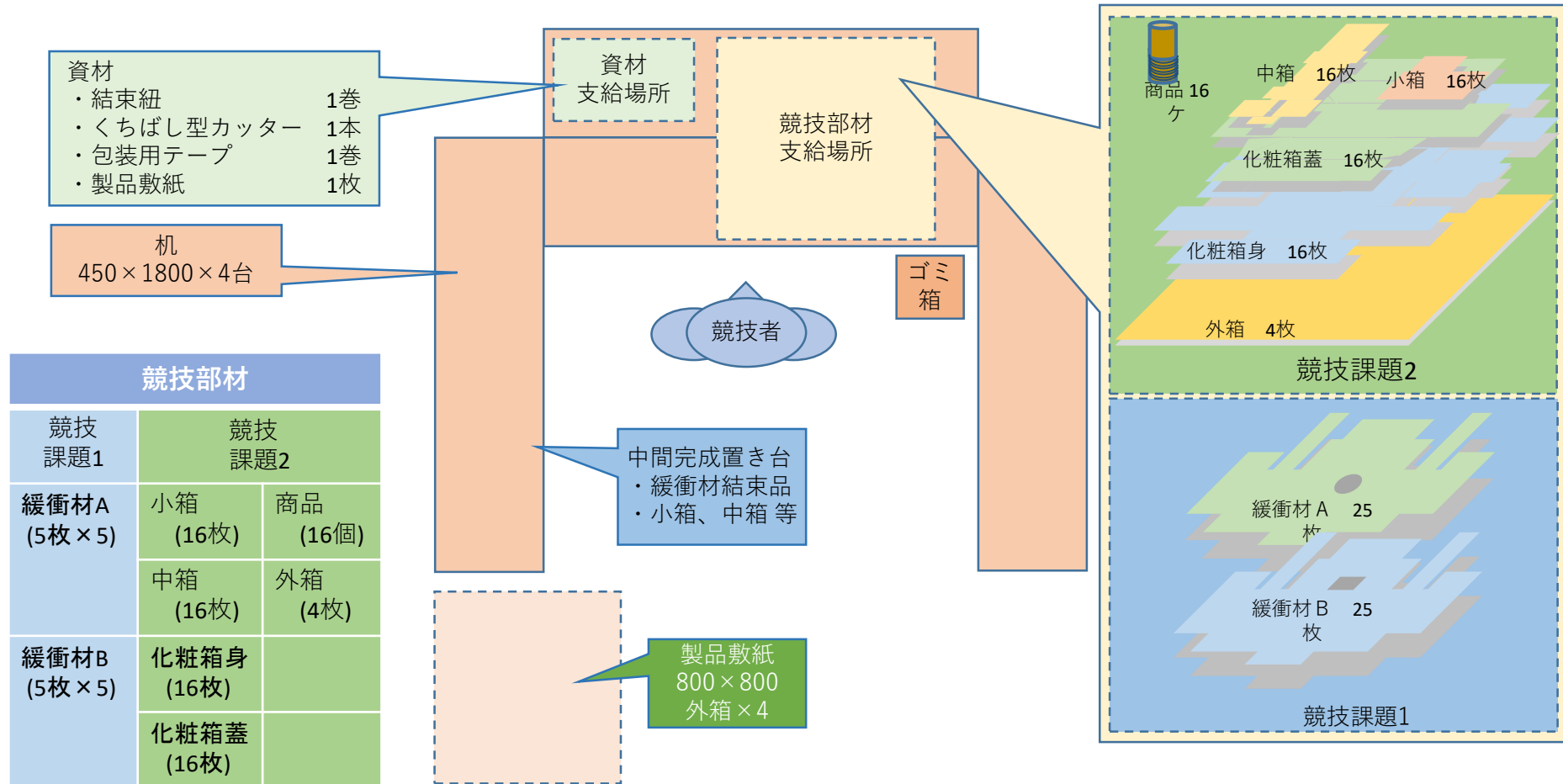
中箱

× 4組



完成 (4箱)

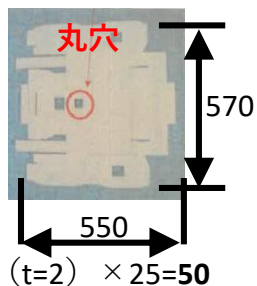
製品パッキング競技全国大会 競技レイアウト



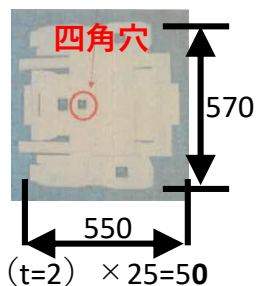
製品パッキング競技全国大会 資材支給検討

競技課題1

緩衝材A (25枚)



緩衝材B (25枚)

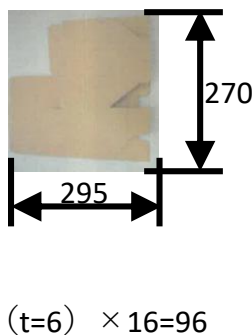


競技課題1	緩衝材A (5枚×5)		緩衝材B (5枚×5)	
競技課題2	商品 (16個)	小箱 (16枚)	化粧箱身 (16枚)	外箱 (4枚)
		中箱 (16枚)	化粧箱蓋 (16枚)	

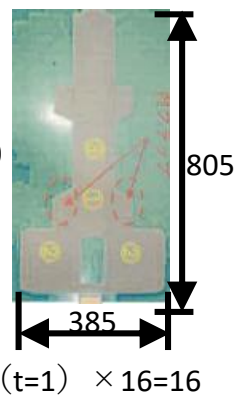
競技課題2

商品
紙コップ
(16個)

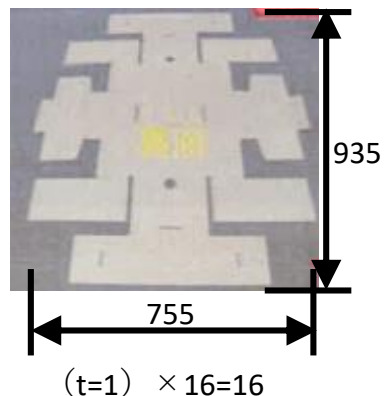
小箱(16枚)



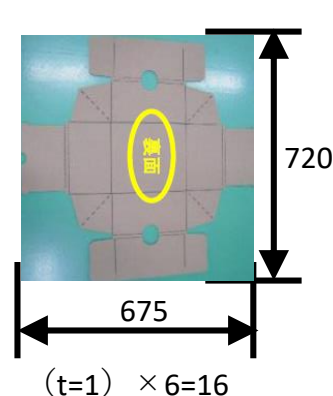
中箱(16枚)



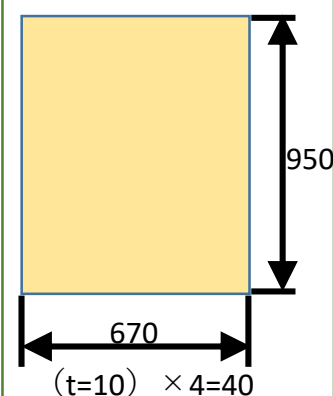
化粧箱身(16枚)



化粧箱蓋(16枚)



外箱 (4枚)

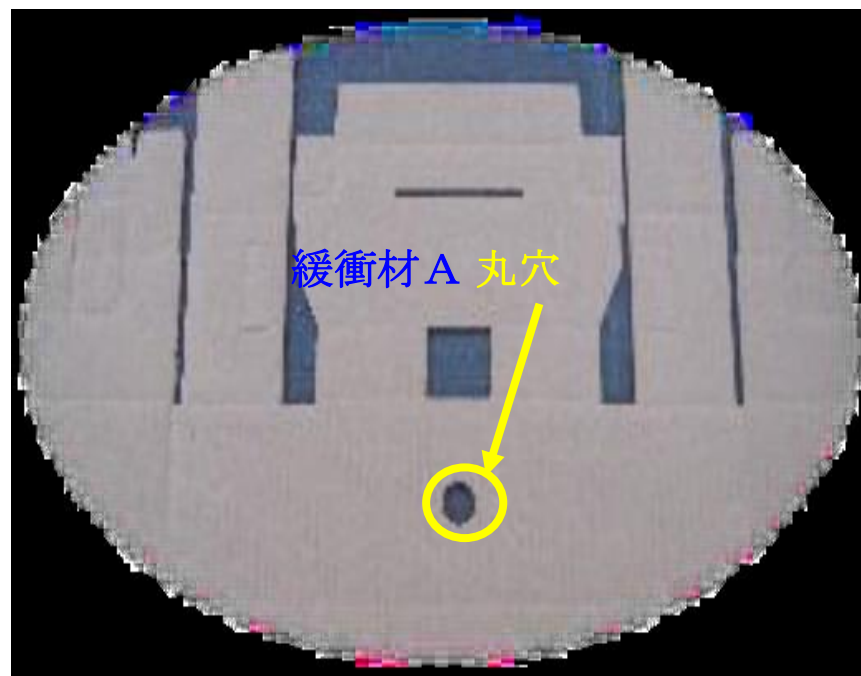
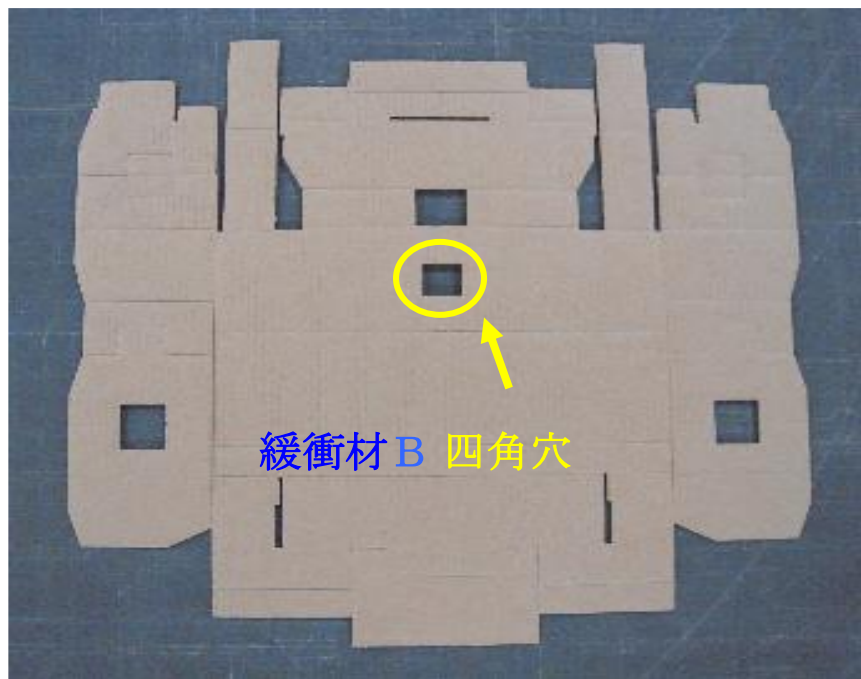


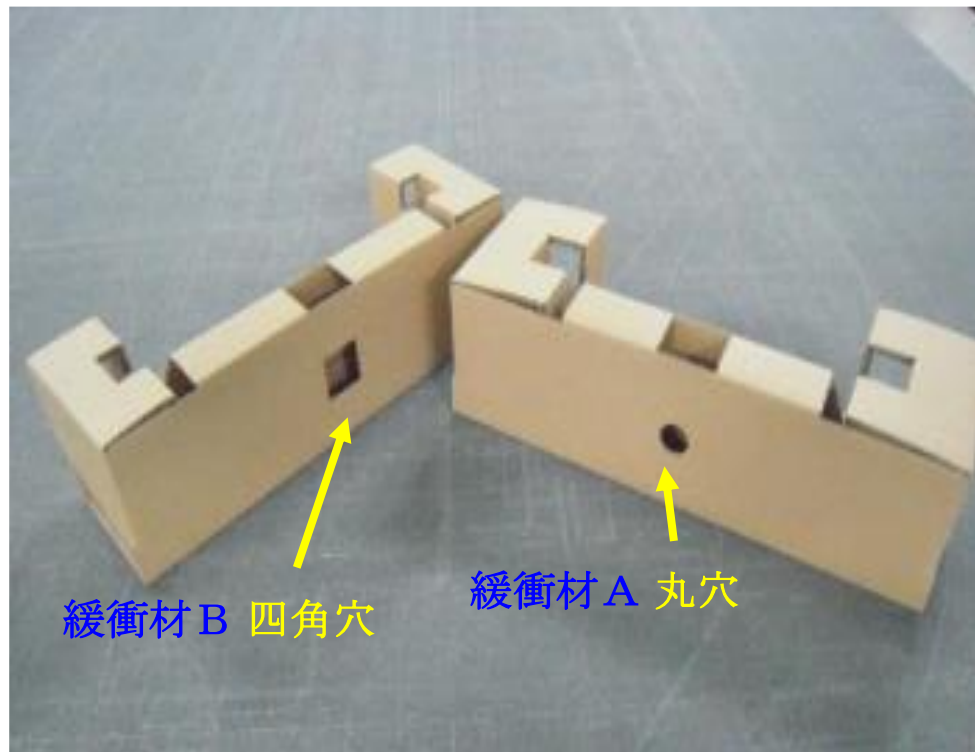
- 以下の資料は「詳細説明図」です。折り方及びセットアップの手順として参考にしてください。
- 奈良大会では、完成すべきセット数を少なくした競技として採用しています。
- 2025.3.13.

「詳細説明図」 折り方の手順及びセット手順

競技用材料 緩衝材について

緩衝材は丸穴（緩衝材A）四角穴（緩衝材B）の2種類あります
折れ線が見える方が裏面になります





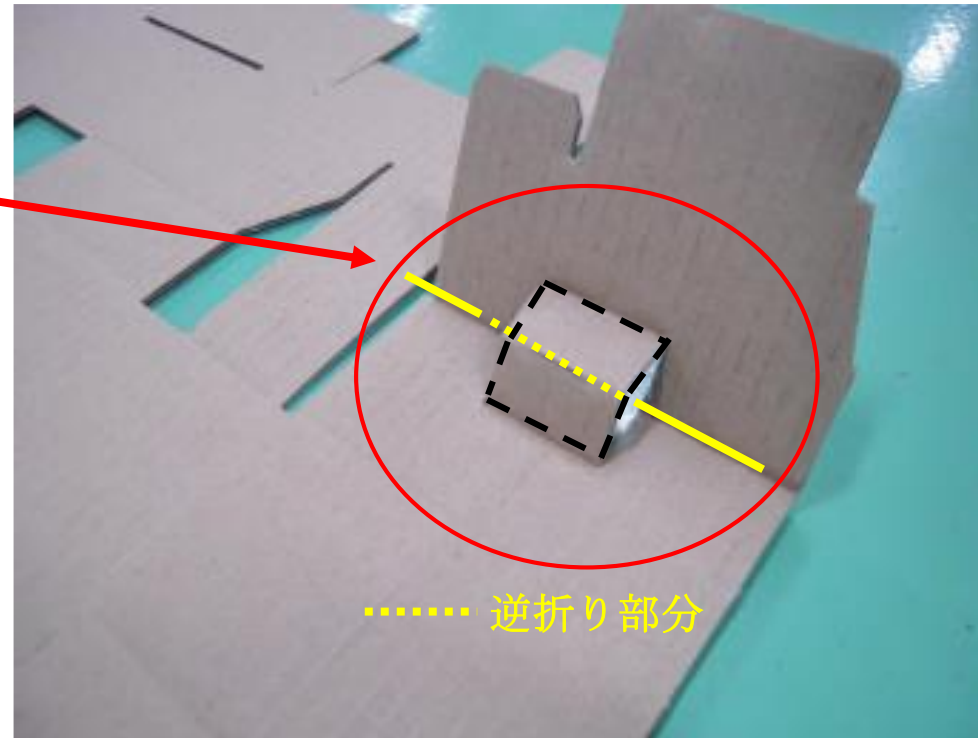
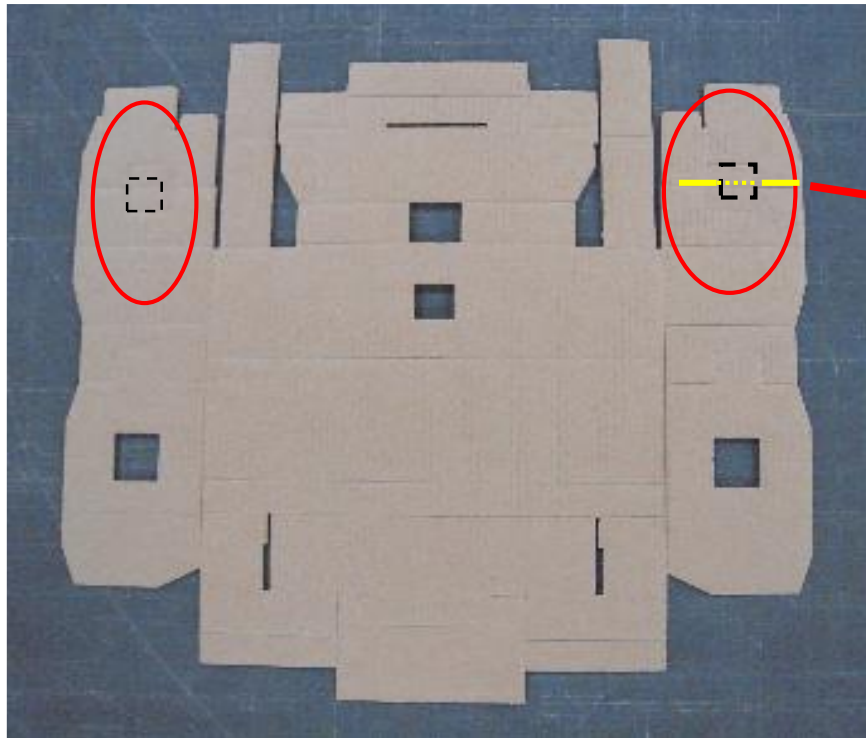
緩衝材A・B組立完成図



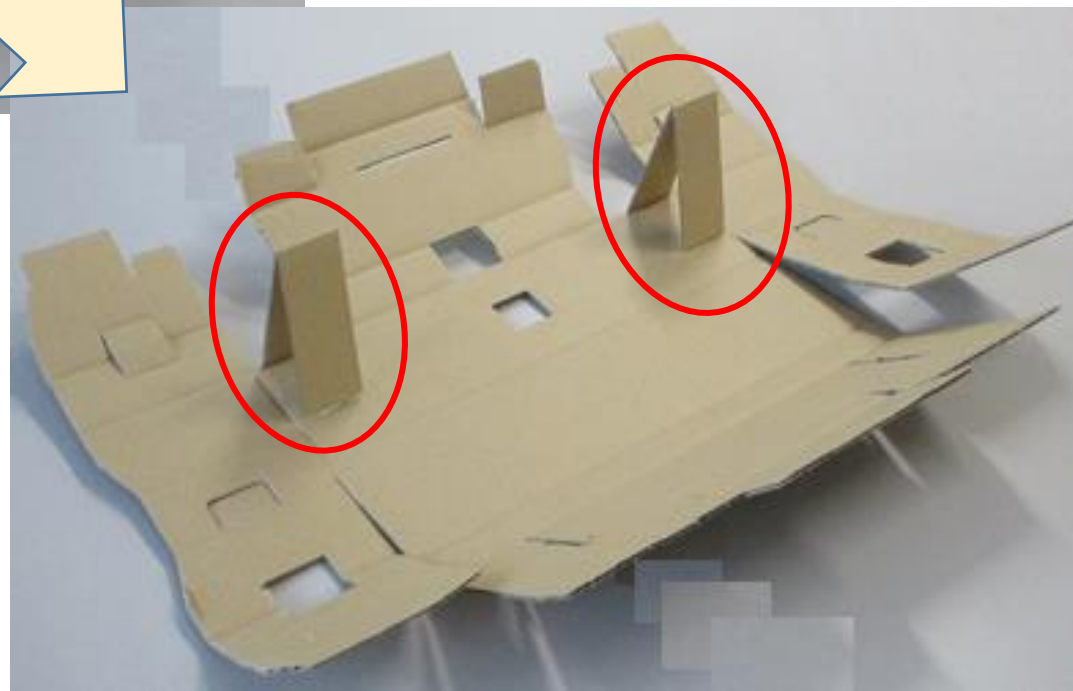
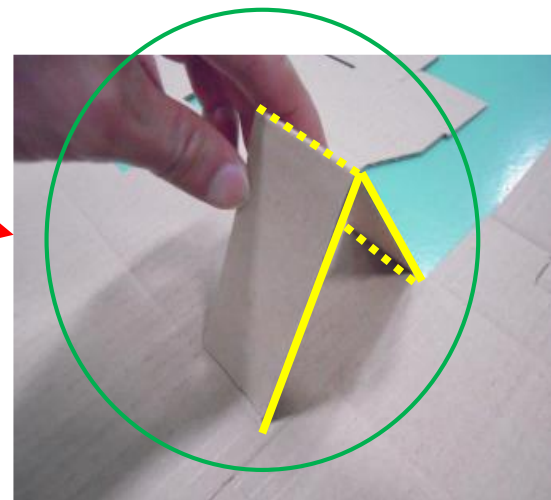
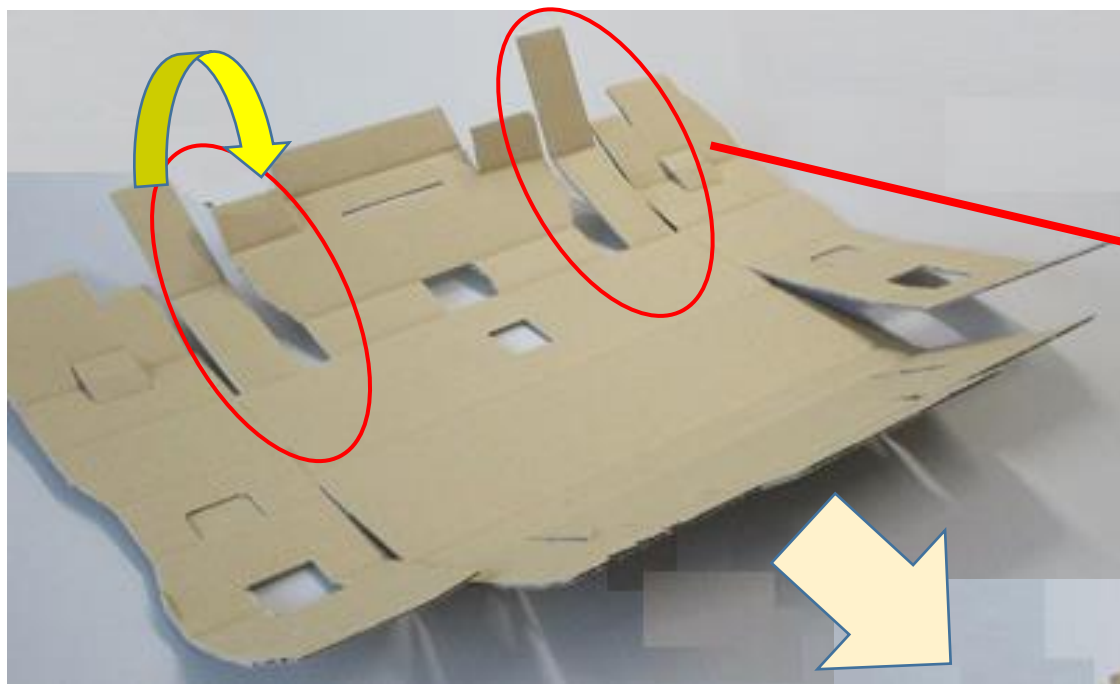
結束完成図

1. 緩衝材 2 種類あるが、基本的な折方は共通です。(写真は緩衝材B) 緩衝材の裏面を上にして折ります。
最初に○印の箇所から折ります。

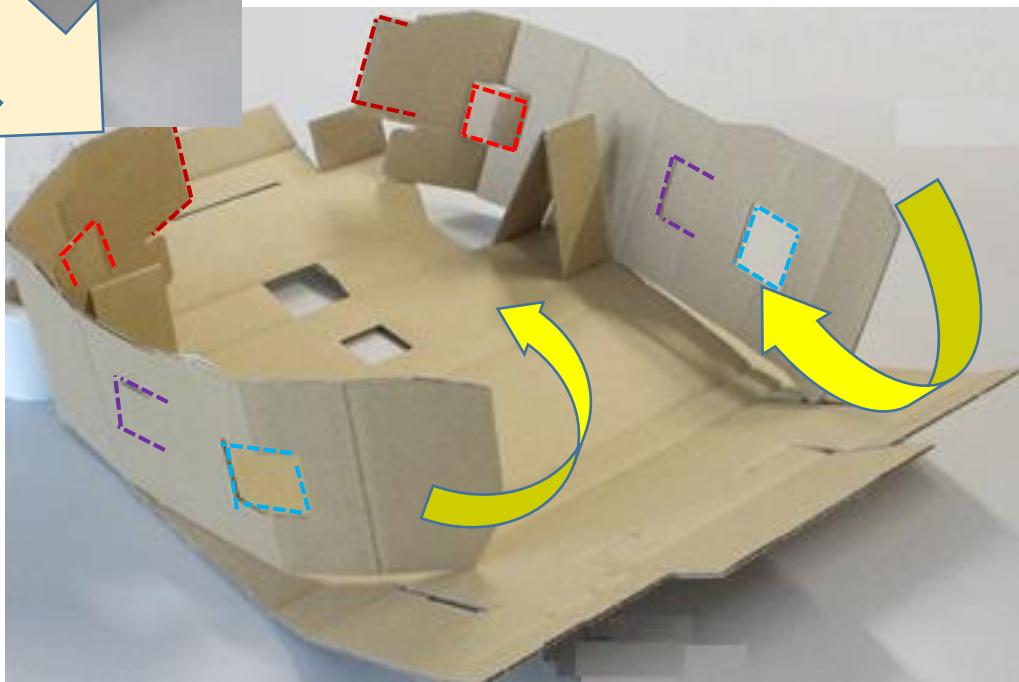
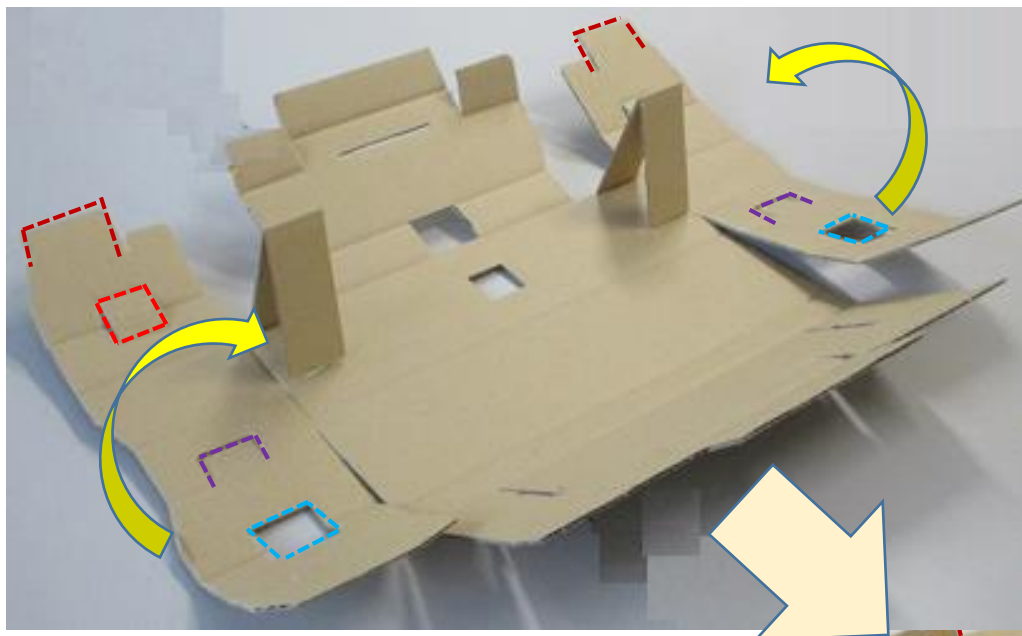
2. 本体の袖部分 2 か所に折り癖を付ける。

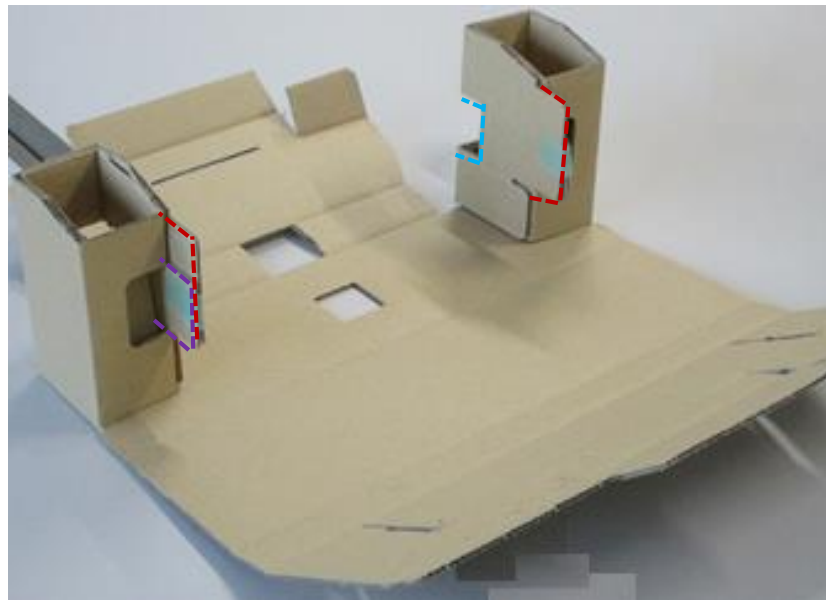
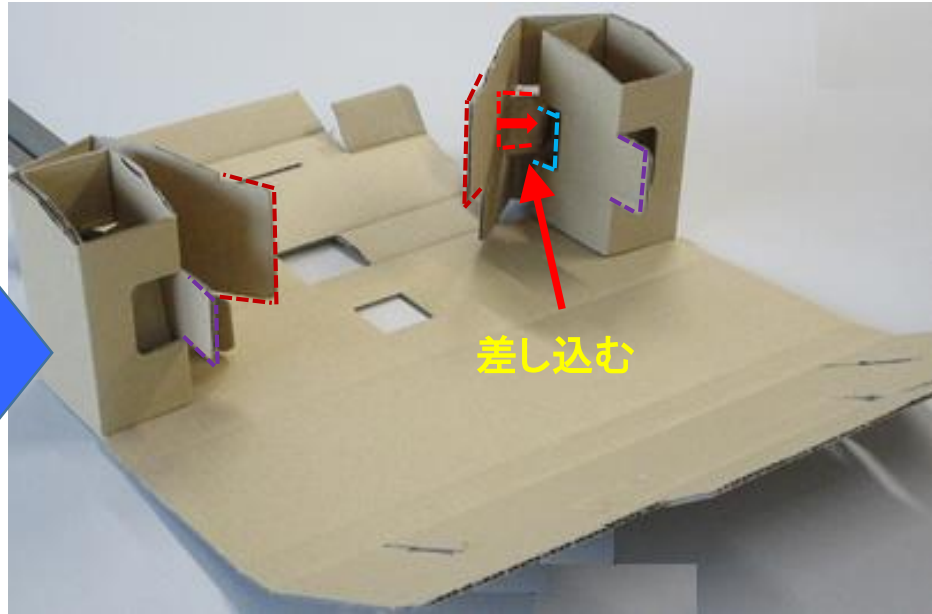
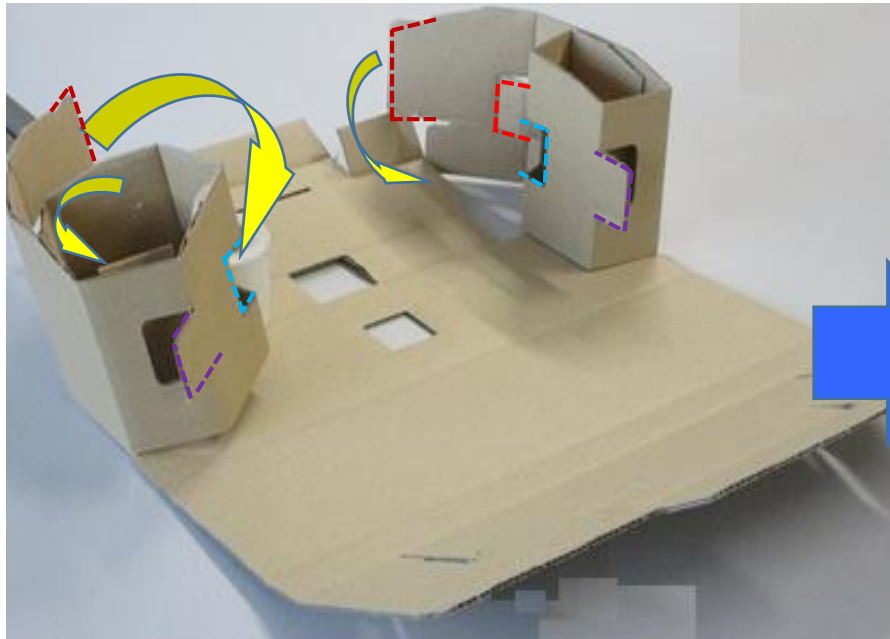


3. ○部を点線部分の折り線に合せ折り込み三角を作る。

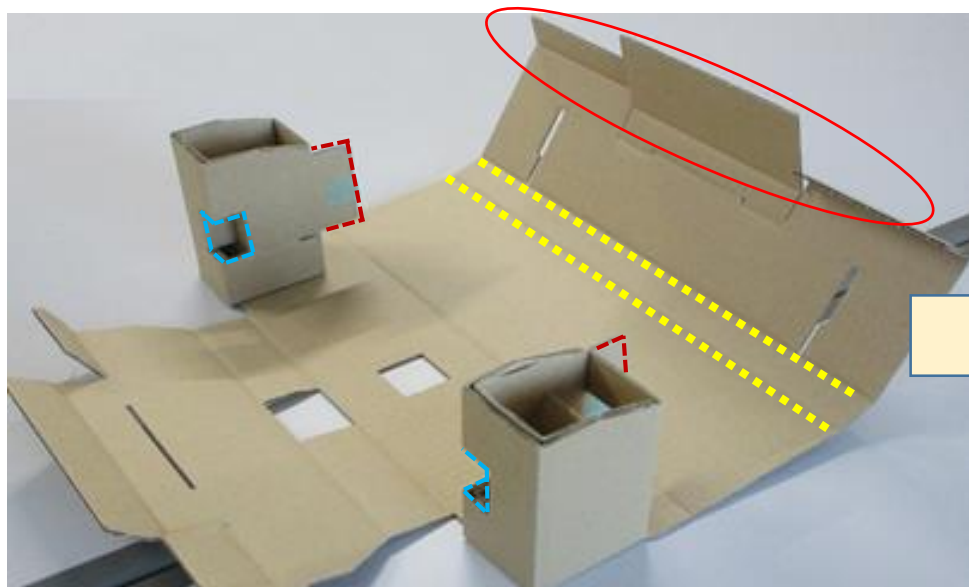


4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。

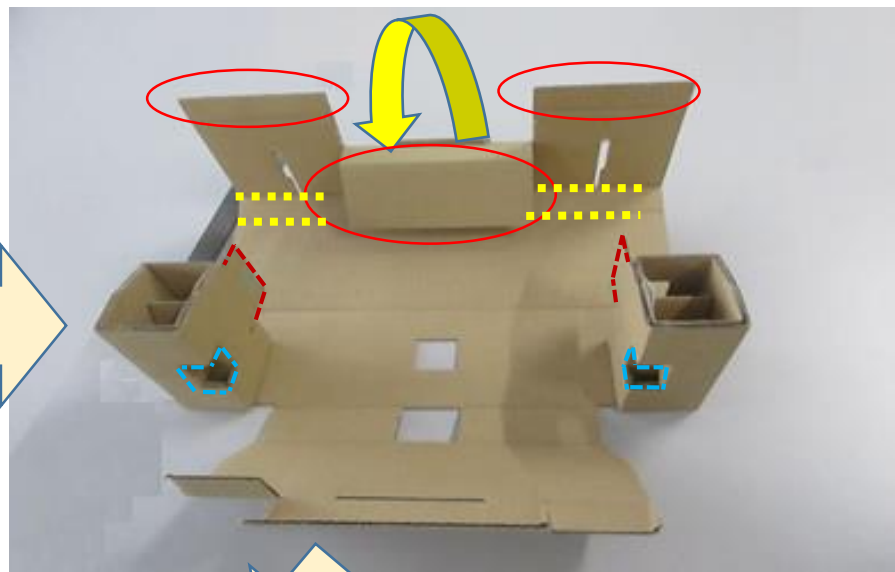




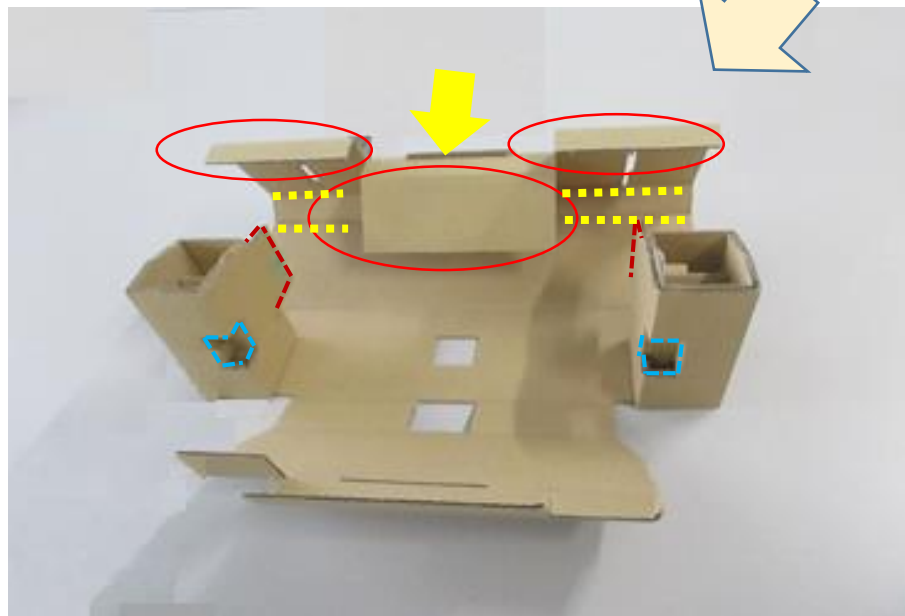
5. ○で囲んだ部分を折ります。

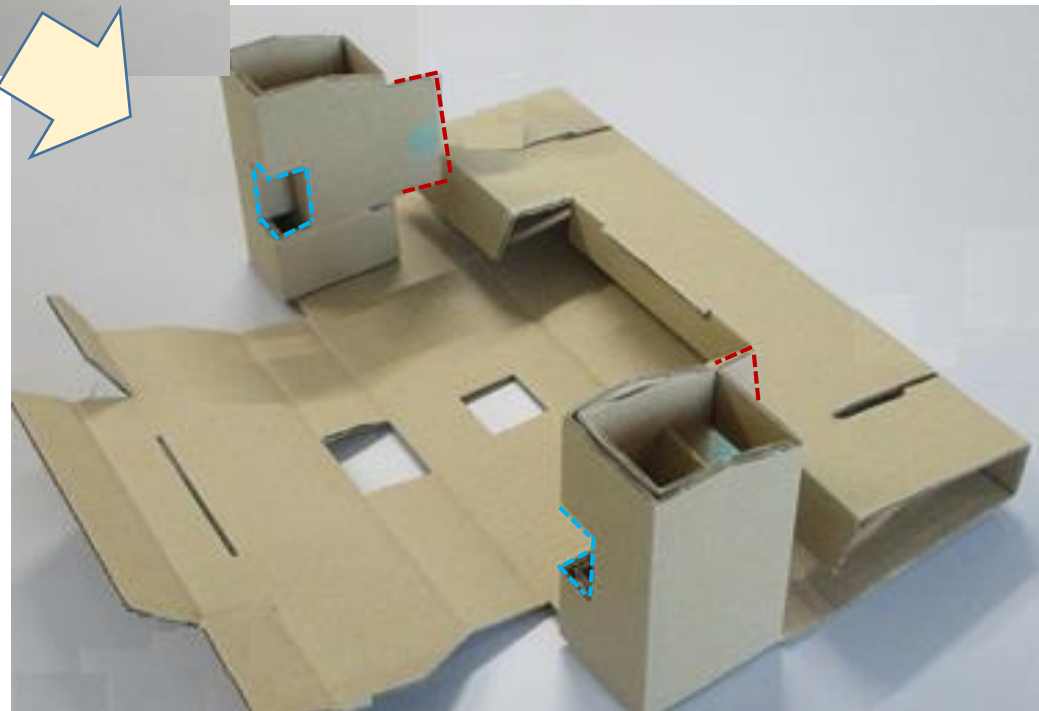
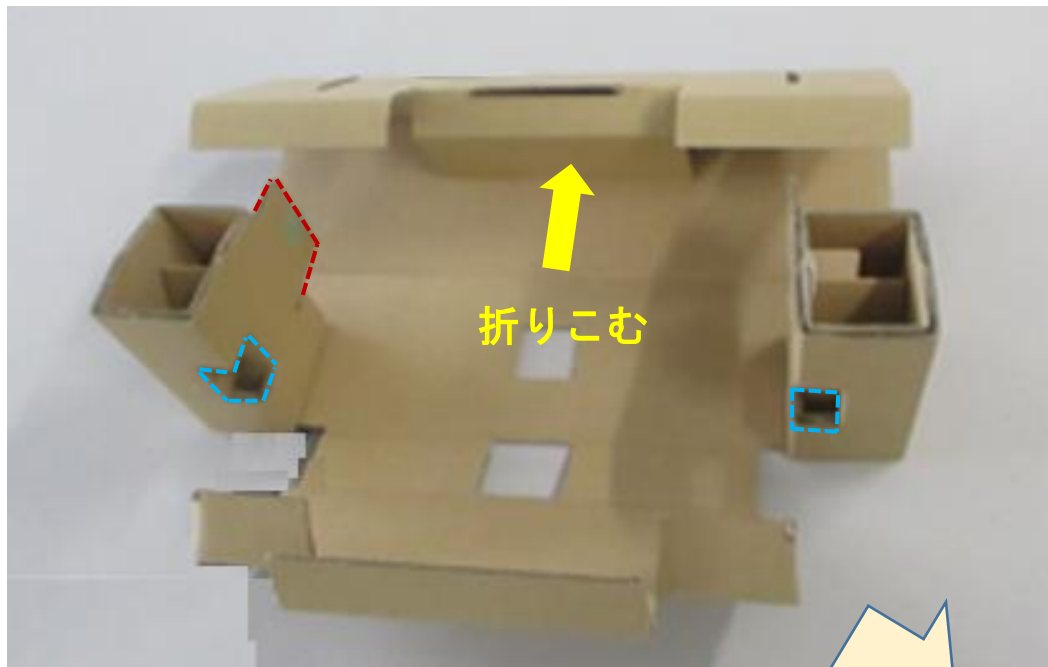


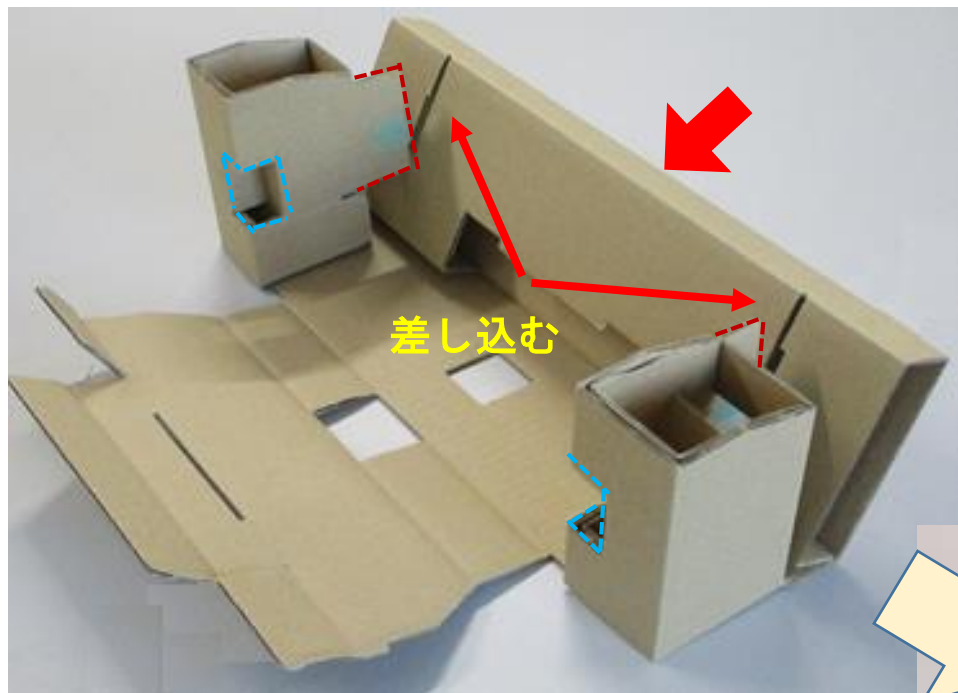
6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折ります。



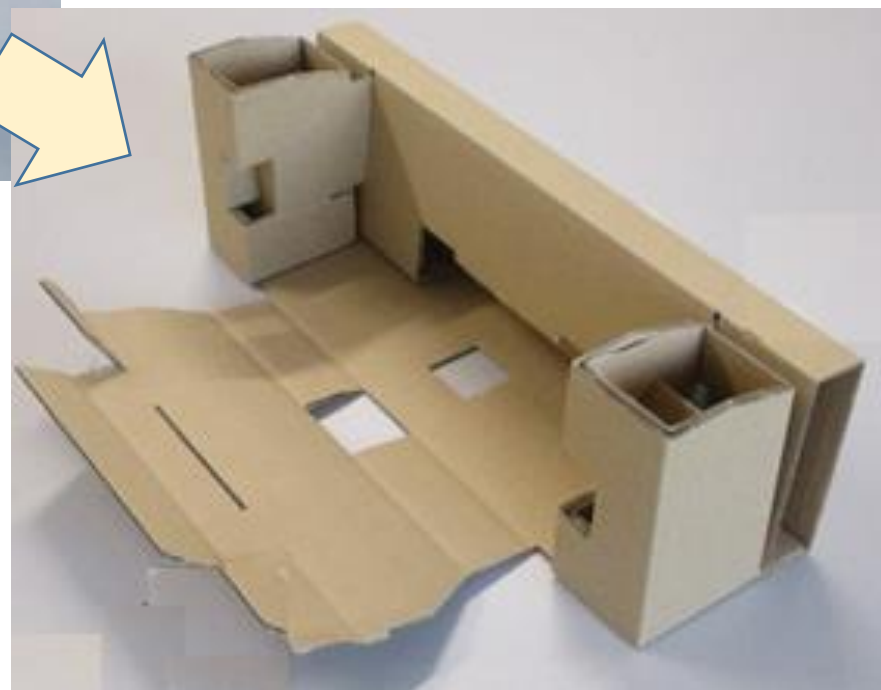
7. 先端部3か所を折りながら矢印方向に折り込む。

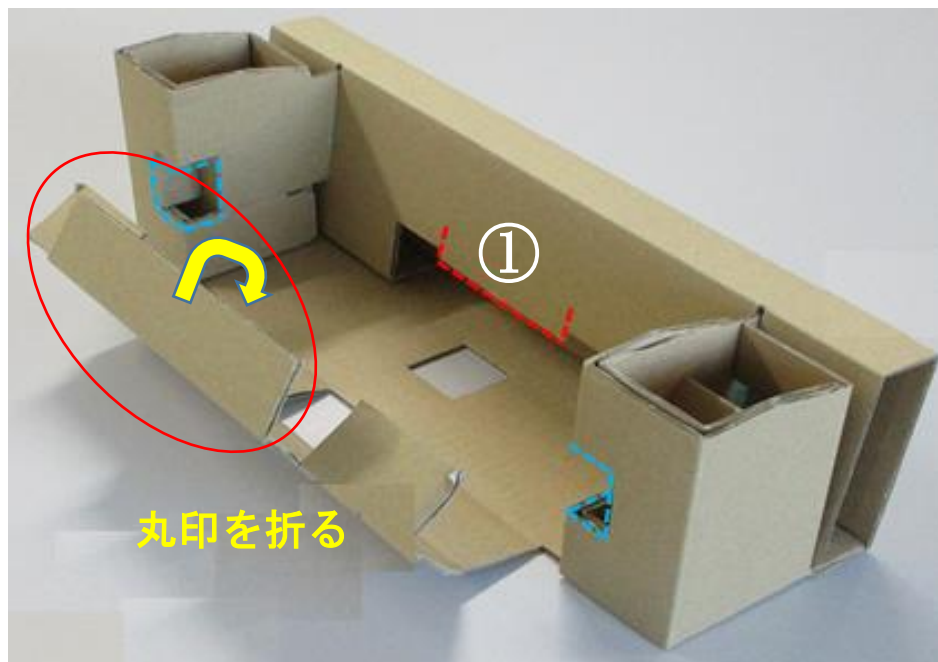






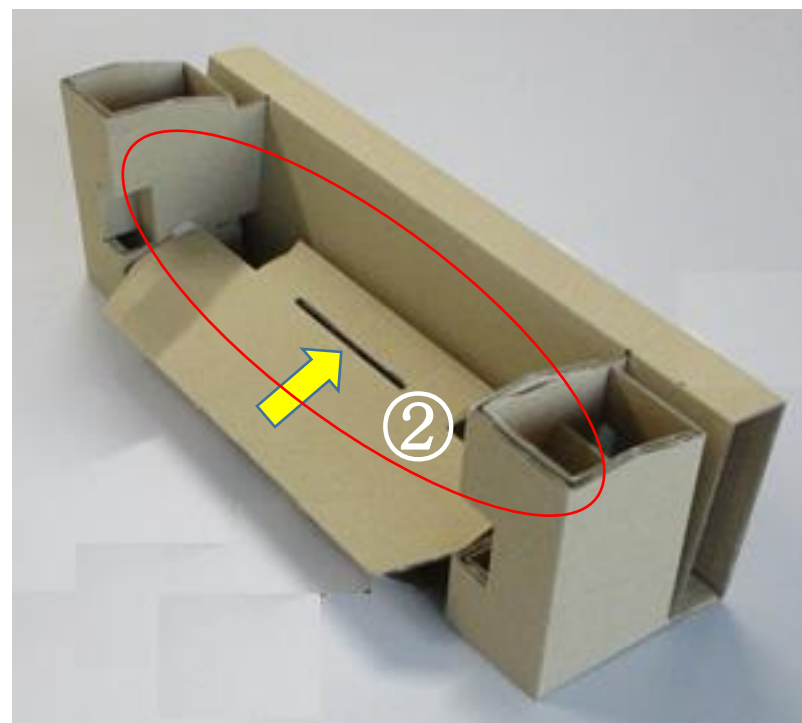
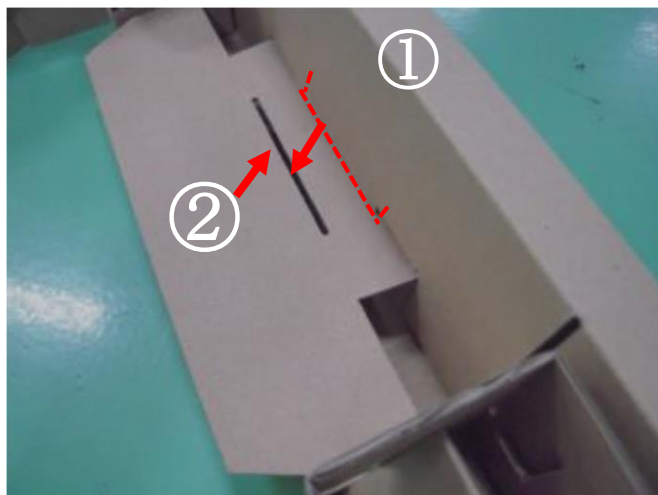
8. 穴部に袖部分の凸部分を差し込みながら全体を立ち上げ折り込む。

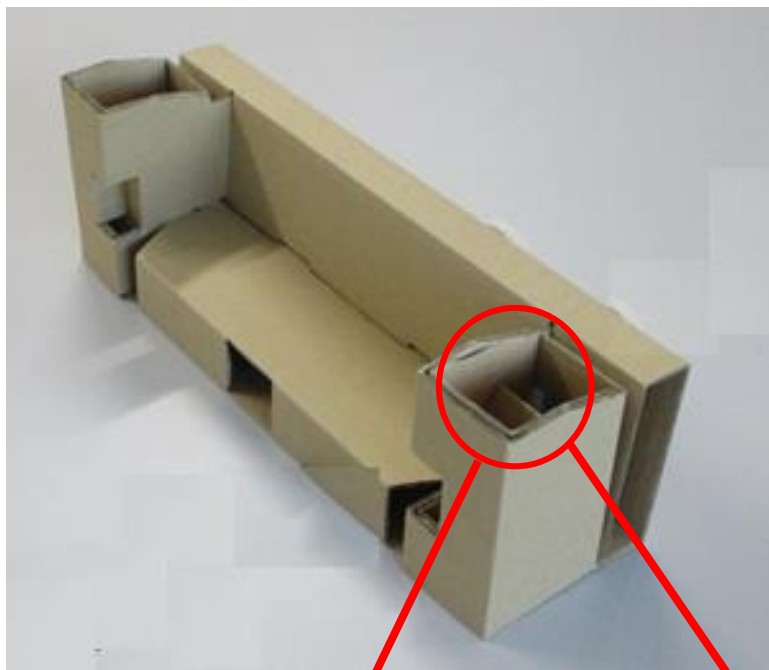




9. 先端部3か所を折りながら矢印方向に折り込む。

10. 全体を折り込み、①を②に差し込み本体にピッタリと押し込む。

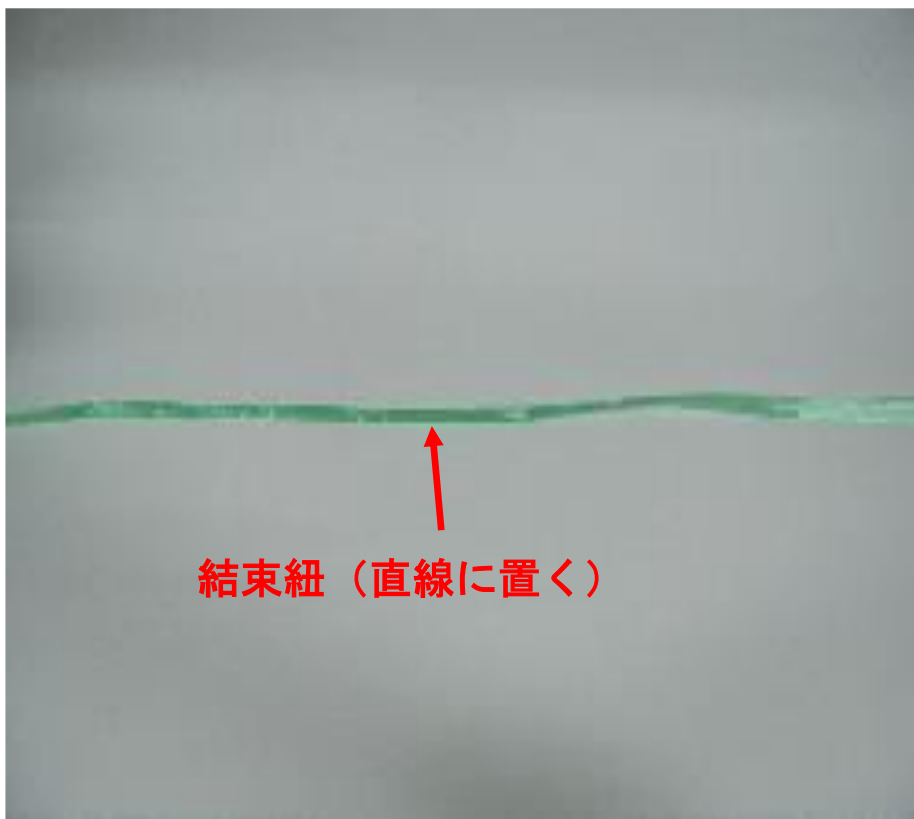




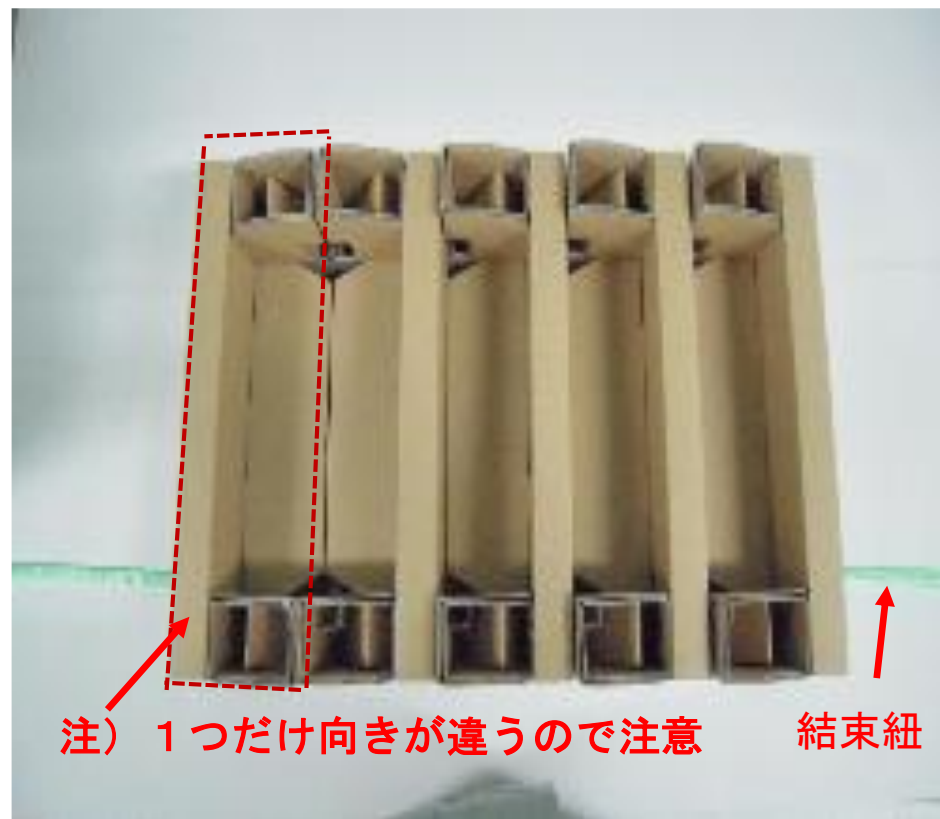
1 1. はじめに折った三角部分が正確に（すき間がない）三角になっているか確認し完成。



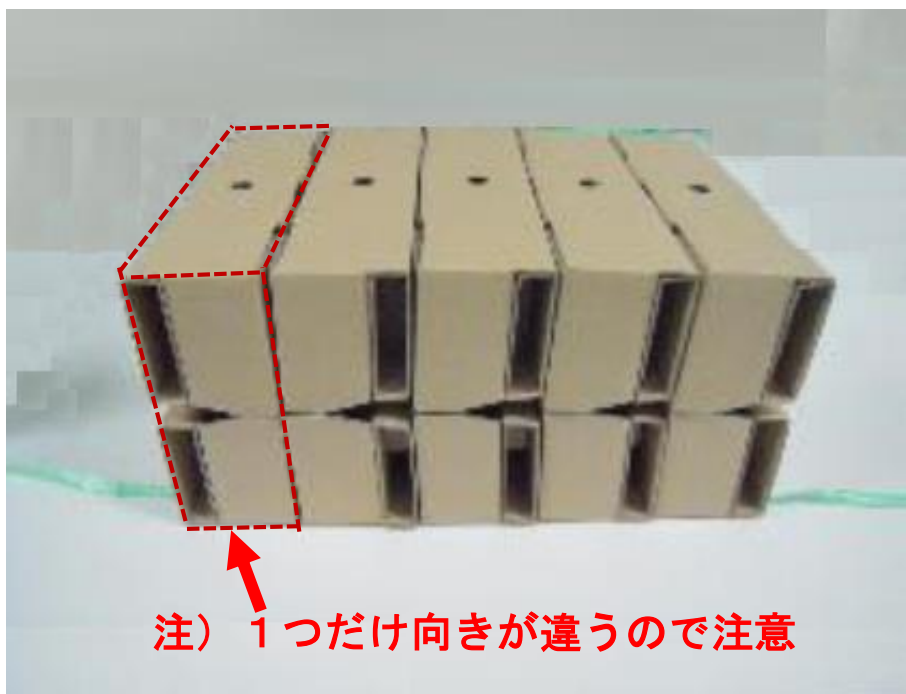
1 2. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



1 3. 設置した結束紐の上に緩衝材 5 ケを結束紐が端側位置にくるように置く。置く際は○□穴が下にくるように置く。

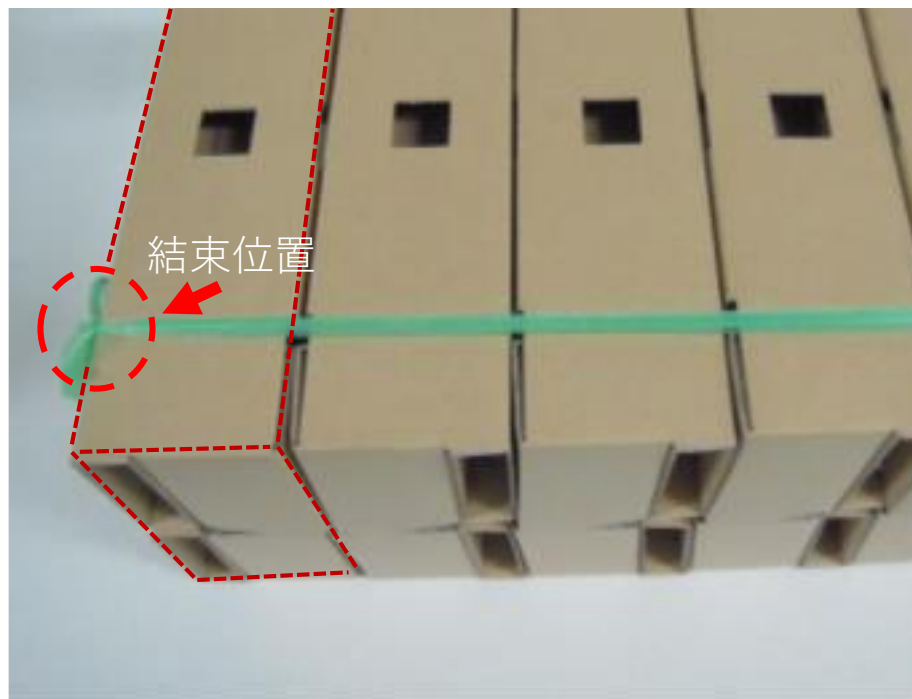


1 4. 1 3で置いた緩衝材と異なる緩衝材（○
穴であれば□穴、□穴であれば○穴）
を5ヶ、穴が上にくるように置く。



1 5. 緩衝材の端から10cm以内の角で結束する。結び方は自由。ただし、8cm以内の結び目で容易に解く事が可能な結び方にする
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の間
隔が5cm以内になるようにする。

※課題2では、自ら作成した製品の紐を解いて
使用します。



16. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の端にくるように設置する。

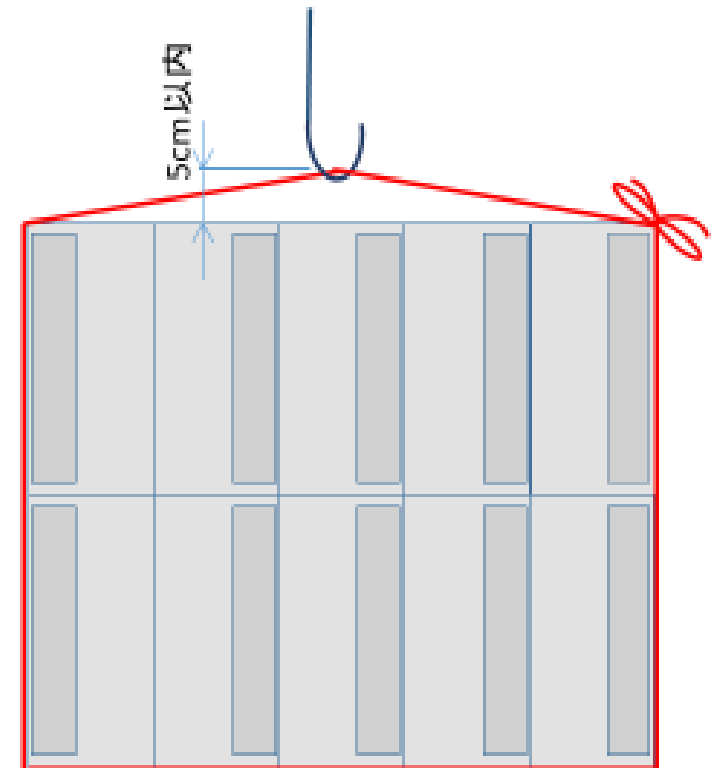
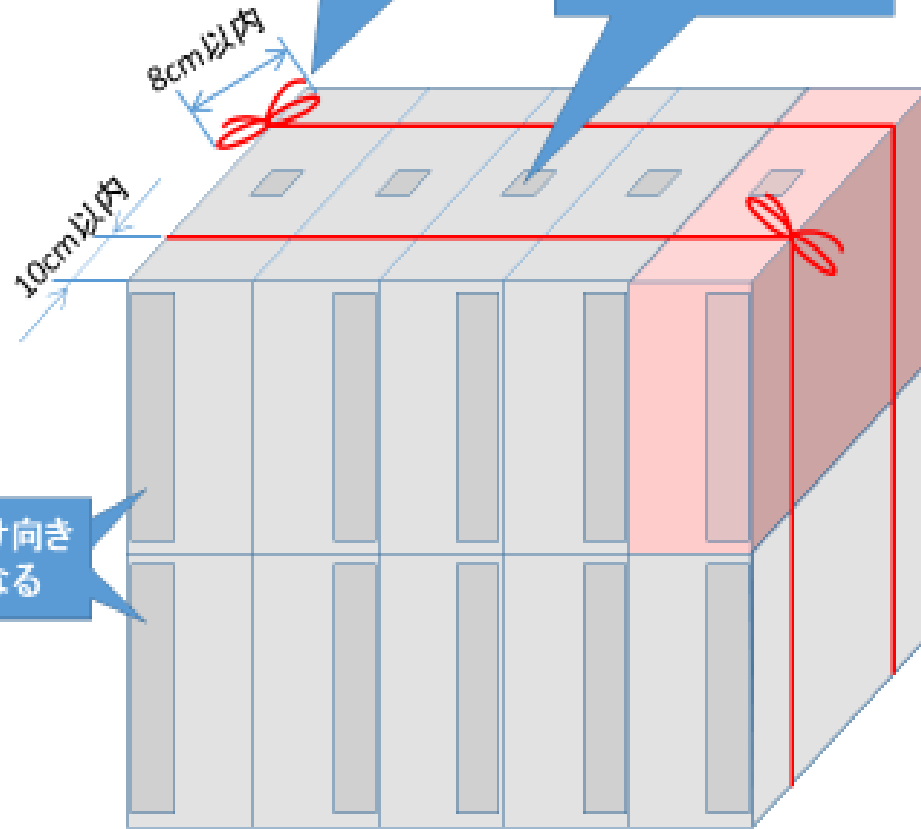


17. 緩衝材口（角）で結束し完成。



- ・結び目は角部
- ※容易に解くことが可能
- ・位置の指示なし

上段が口穴の場合
下段は○穴



【競技課題 2】 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

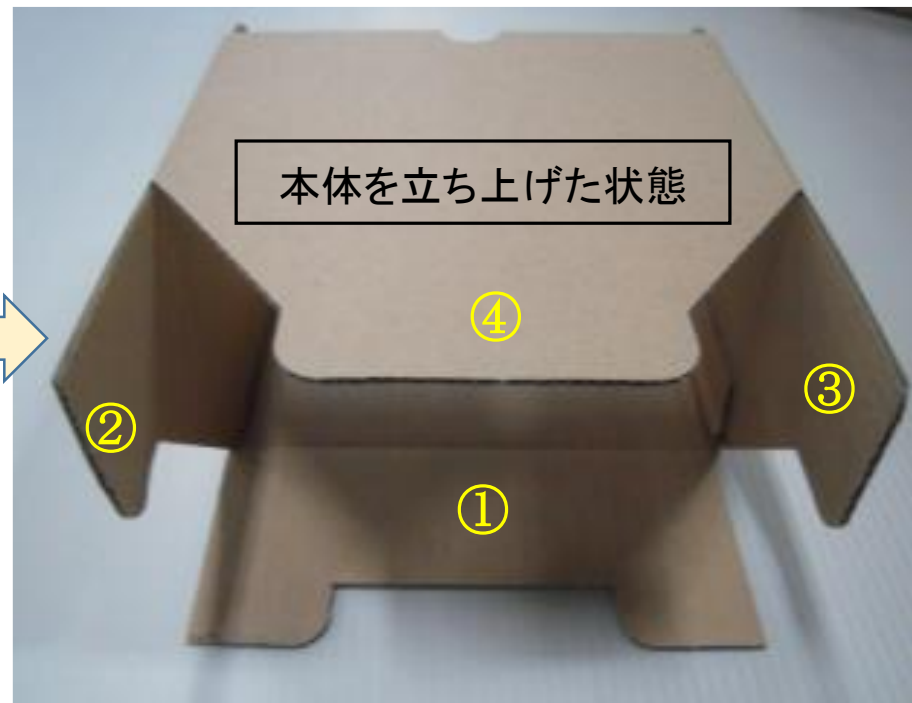
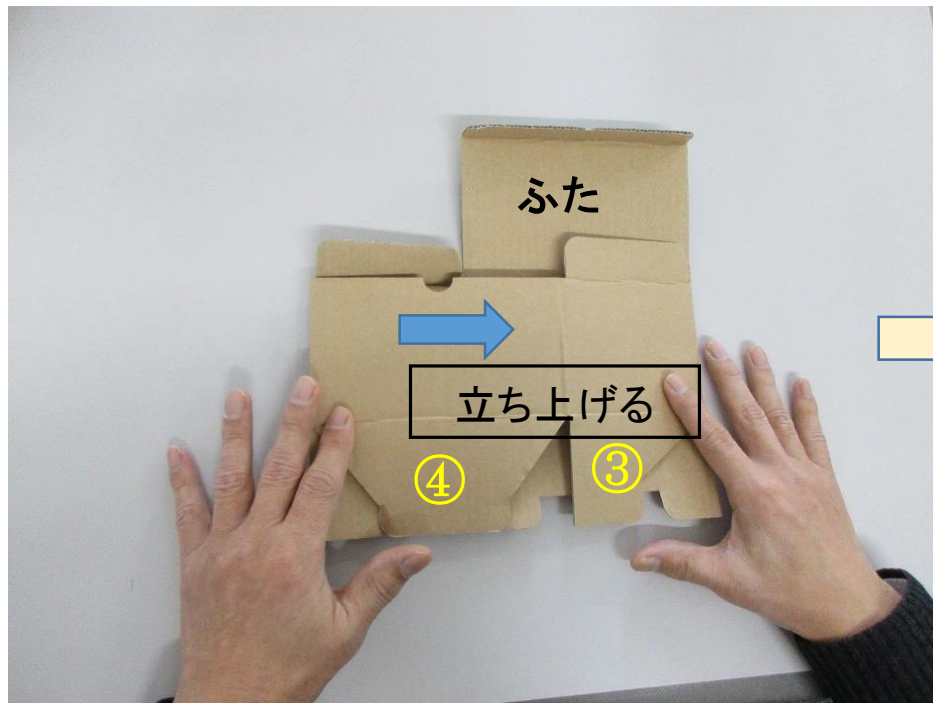
小箱展開図



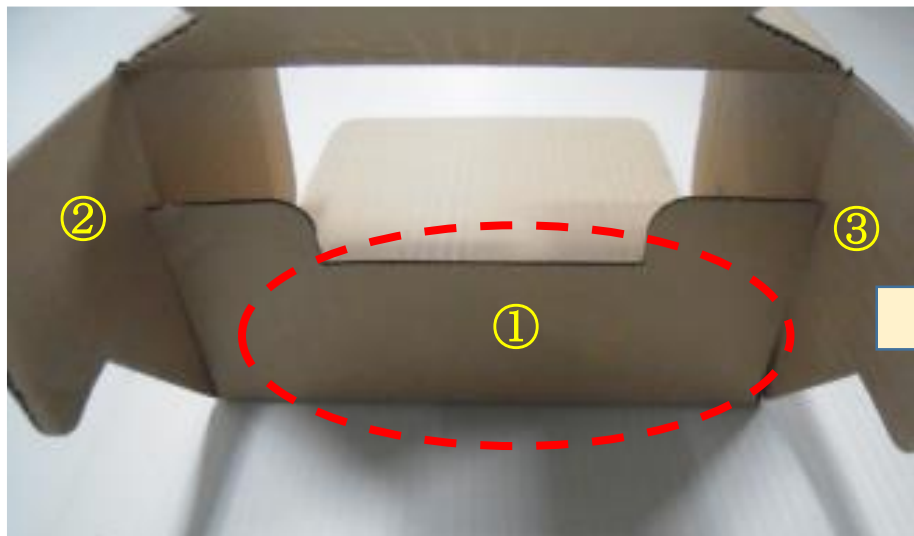
小箱完成図



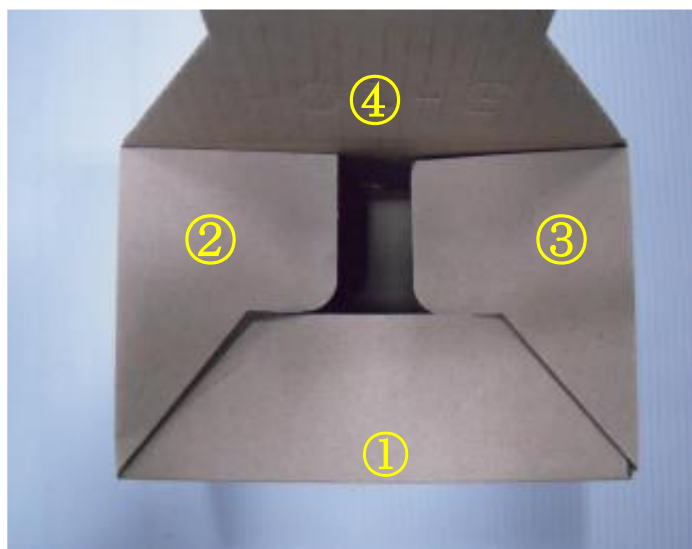
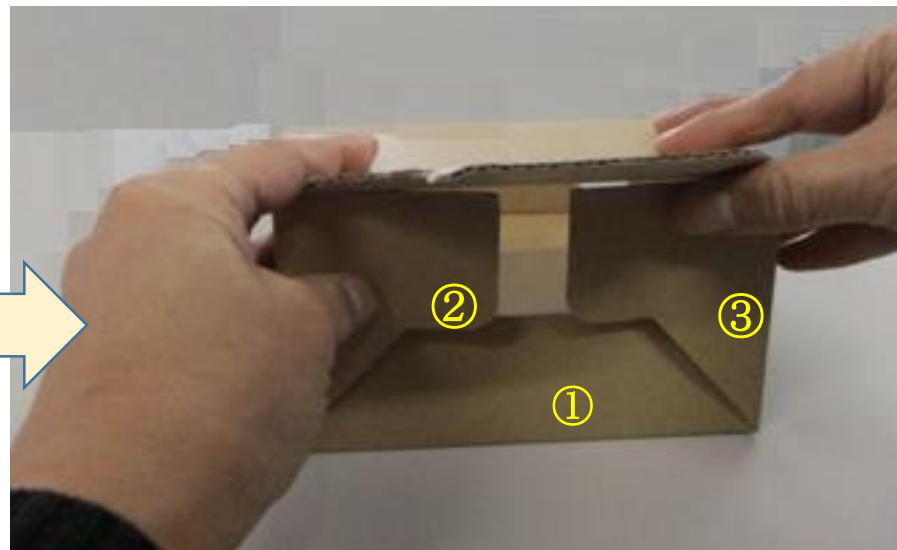
※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります
1,蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる



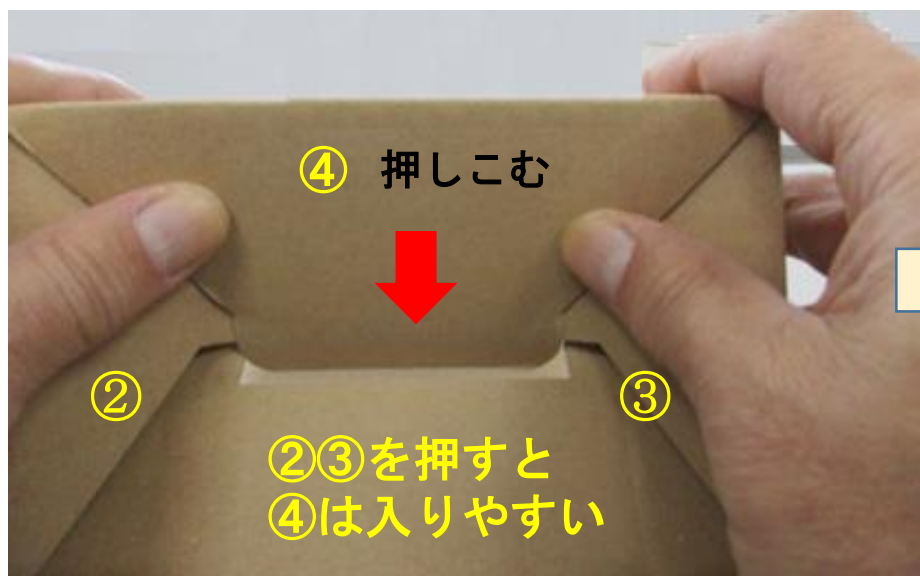
2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。



3. ②③のフラップ2か所を内側に折る。



4. ④のフラップを内側に押し込み、底部が完成。

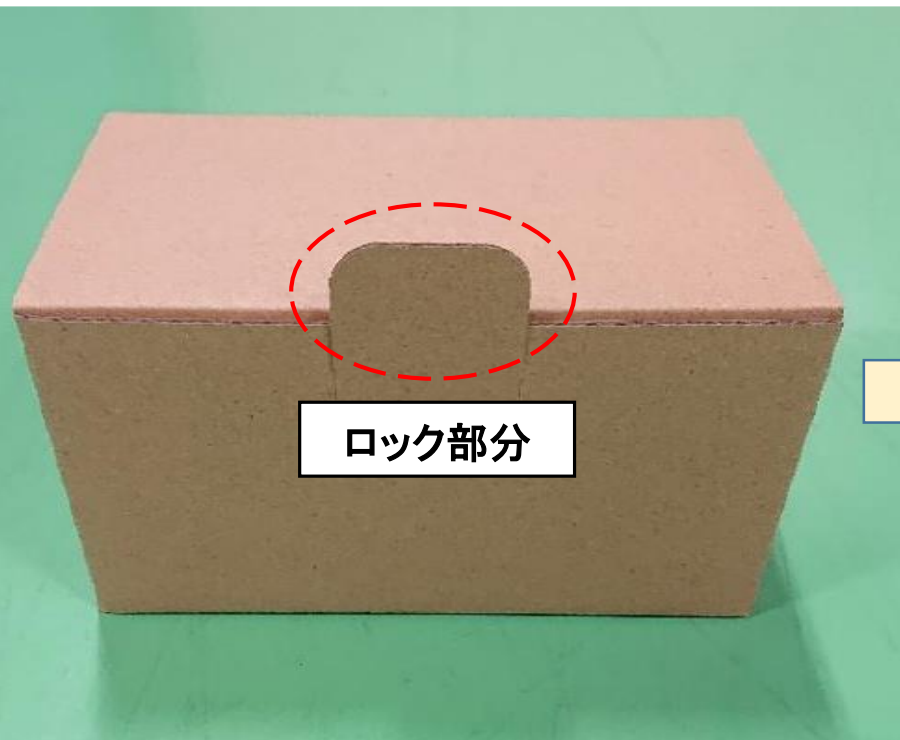


5. 底部を下にし、商品を箱の中に入れる。商品を入れた後、内フラップ2か所を内側に折る。

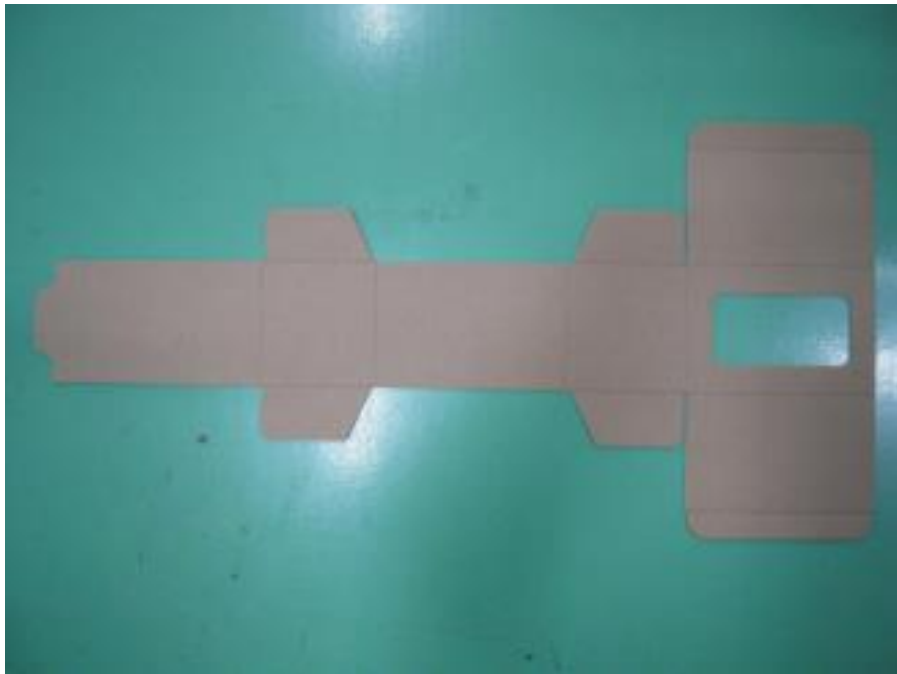


※商品の向きは審査対象外です

6. 最後に蓋をしてロック部分を挿入し完成。



中 箱 展 開 図



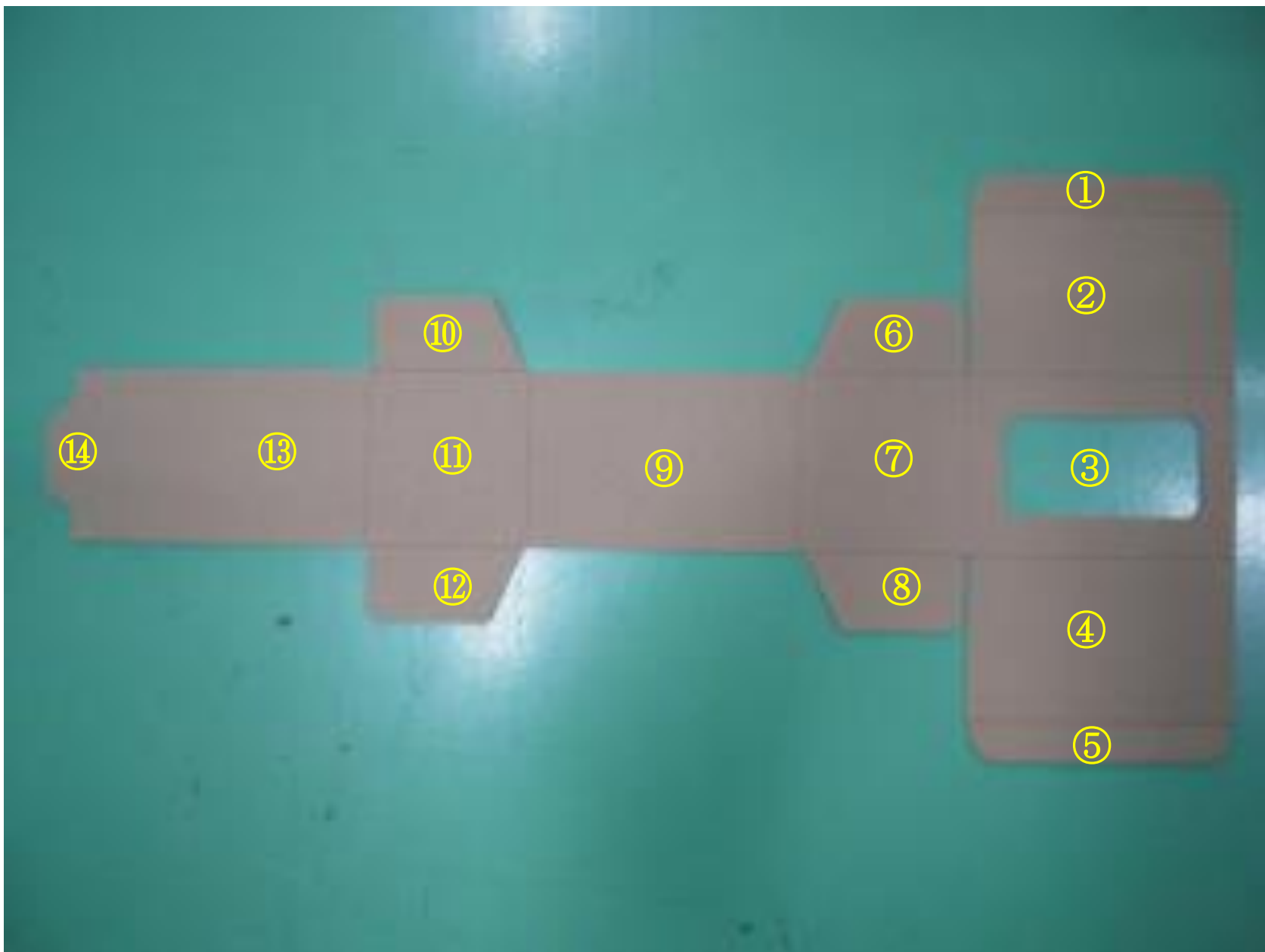
中 箱 完 成 図



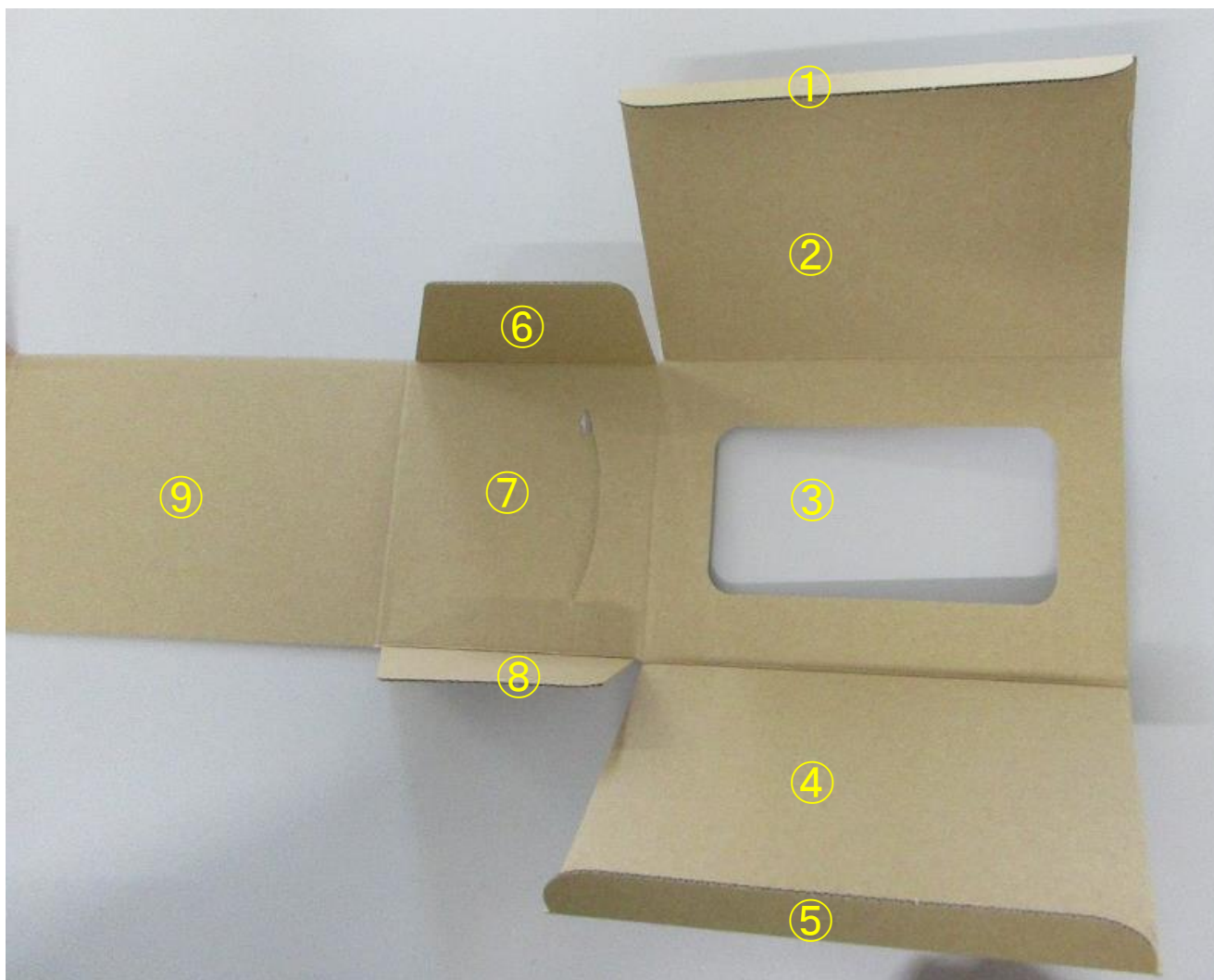
※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります

※競技材料はカットのみの材料です。そのためくず取り作業が必要となります。

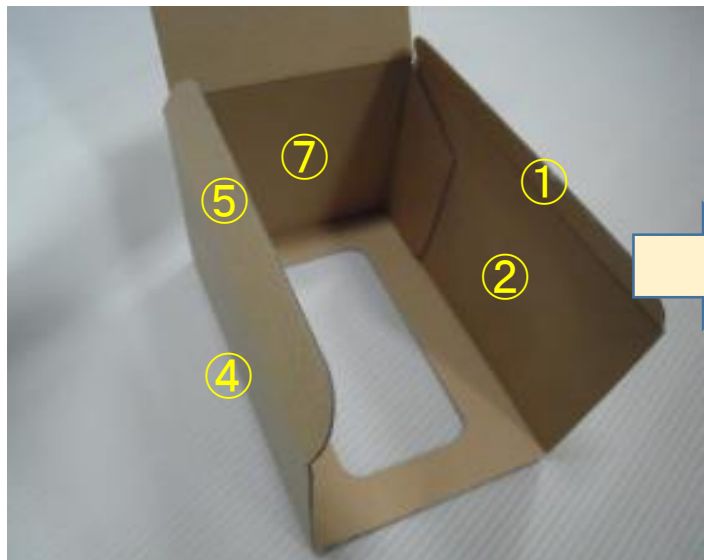
7. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折りその後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



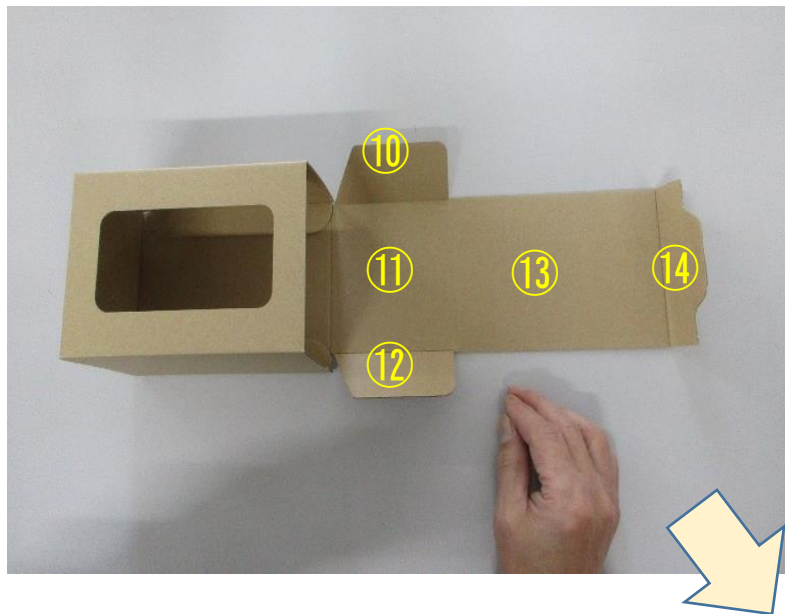
8. ② ④の面を立ち上げ、① ⑤ ⑥ ⑧フラップ部分を内側に折る。



9. ②④の面を立ち上げ①⑤先端部分を内側に折る。⑦の部分で罫線（折れ線）に沿って折り、⑨の部分を下に向きを変える。



10. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。その際、中箱の穴から小箱の底が見えないように小箱の上下向きに注意する。



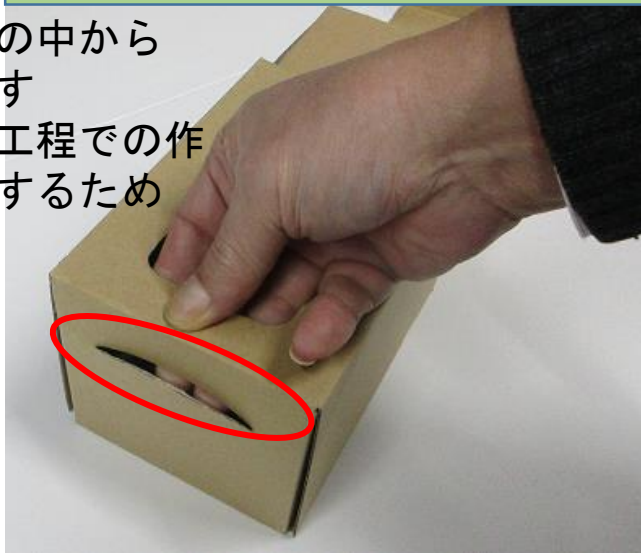
左矢視図



小箱

左矢視図

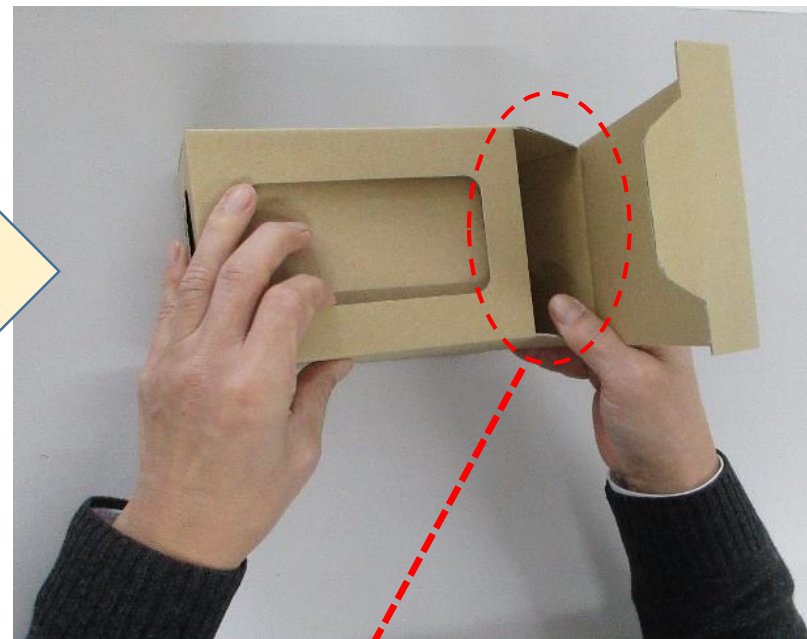
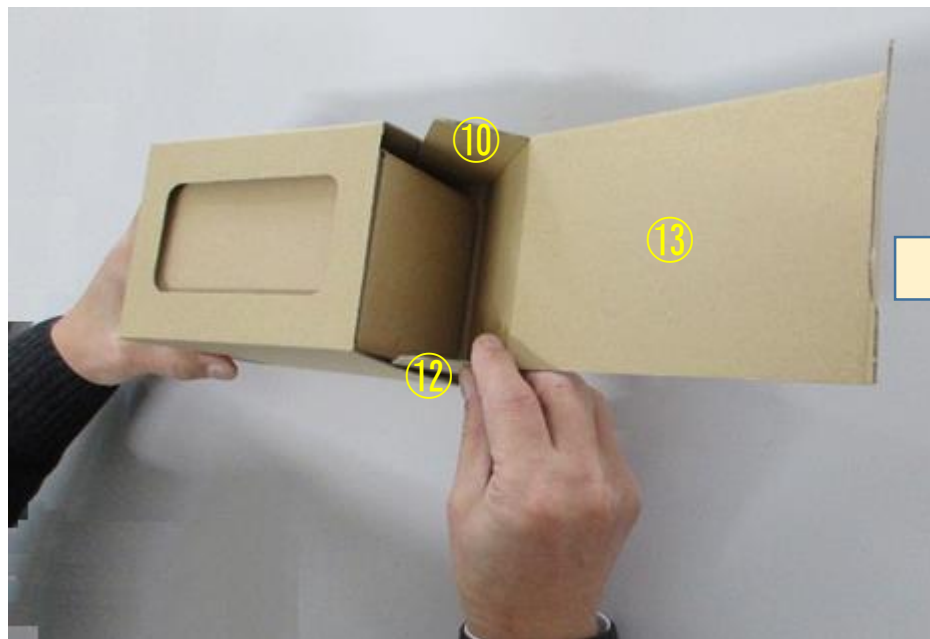
※ 指で箱の中から
押し出す
理由：13工程での作
業性を良くするため



1 1. この時、中箱の穴から小箱の底が見えないように小箱の上下向きに注意する。



12. フラップ部分⑩ ⑫2か所を内側に折り、本体の中に差し込む。



13. 中箱の天面⑬を本体に向かって折る。最後に天面先端⑭の差込部を本体の切れ込み部に挿入し完成。

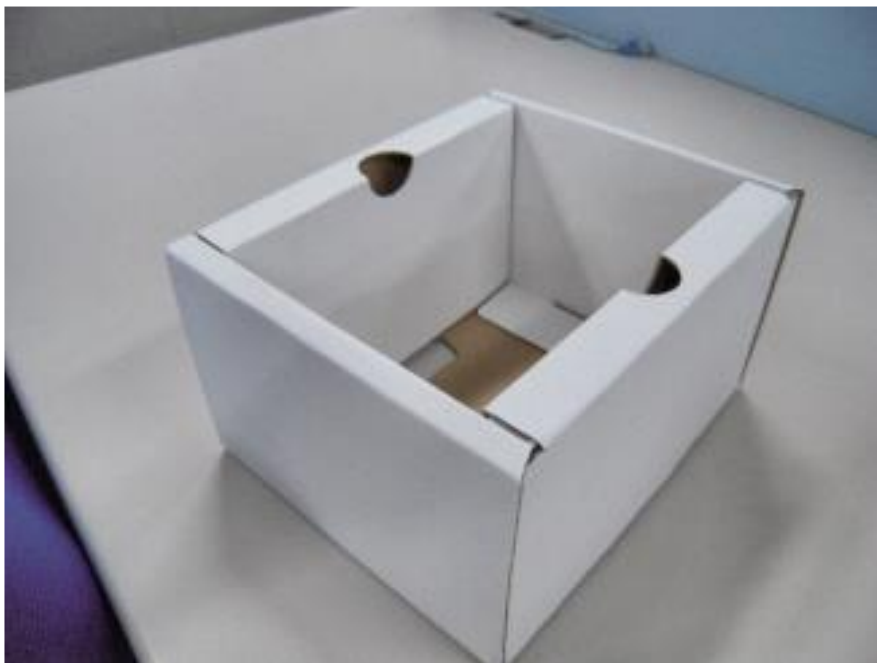


【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

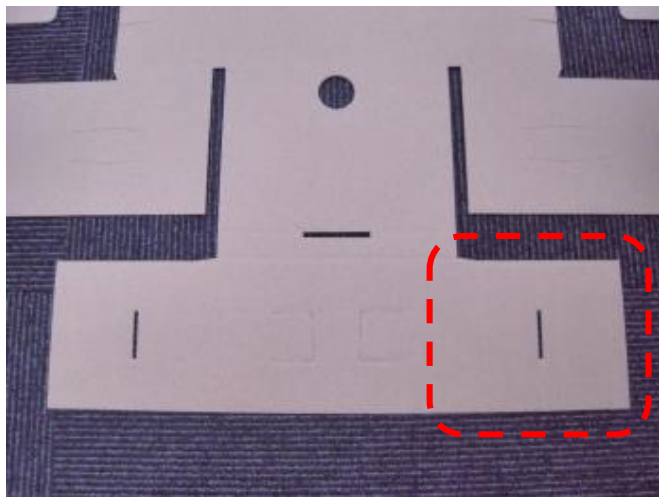
化粧箱身展開図



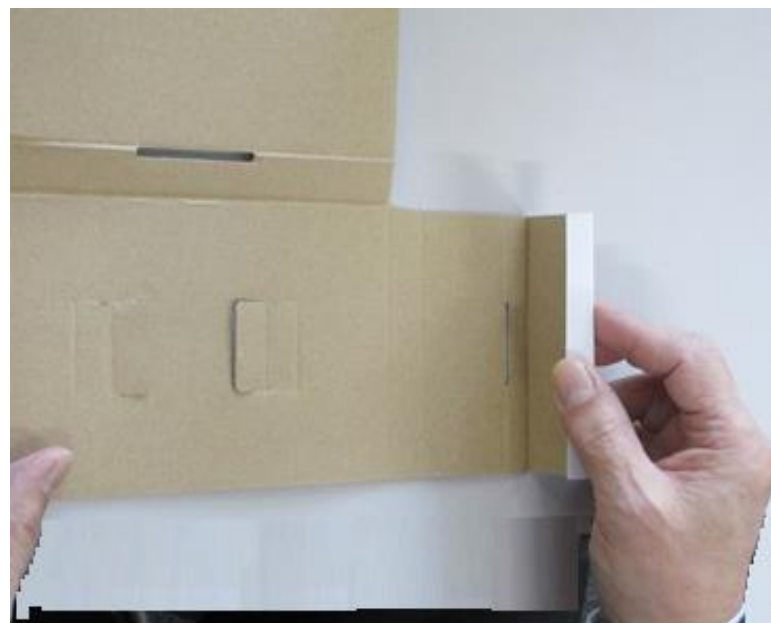
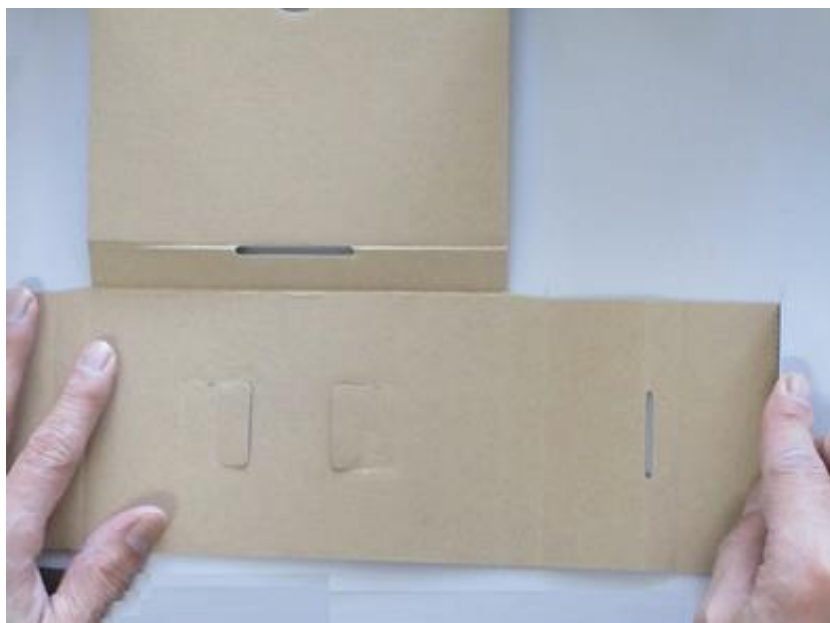
化粧箱身完成図

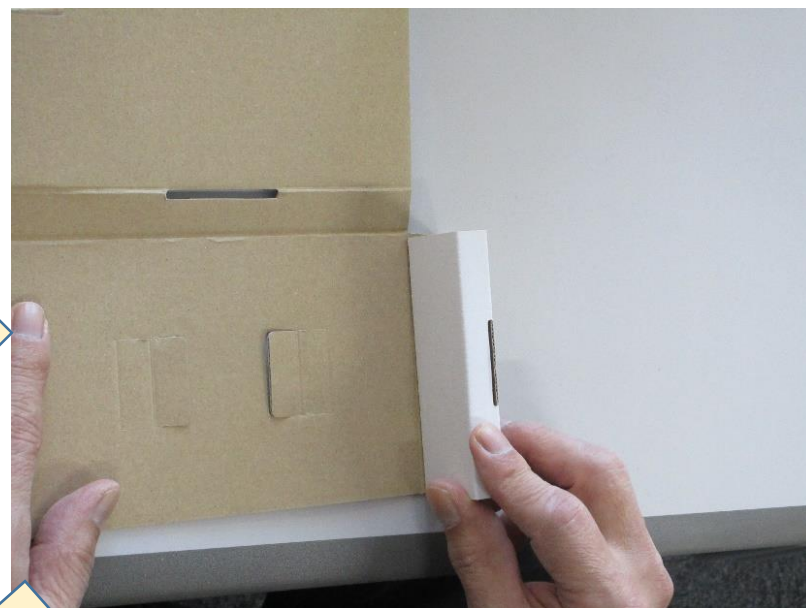
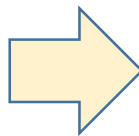
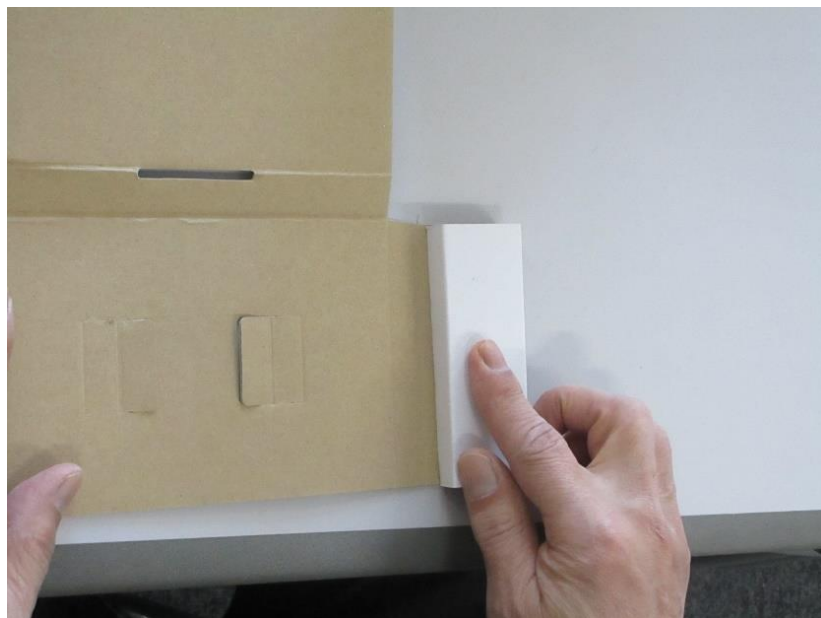


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。
そのためくず取り作業が必要となります。

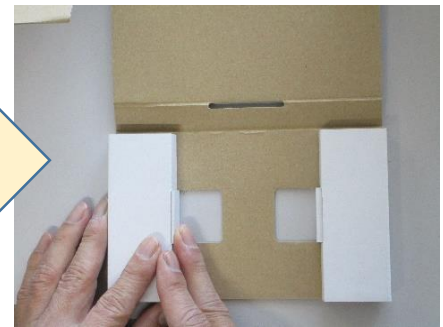
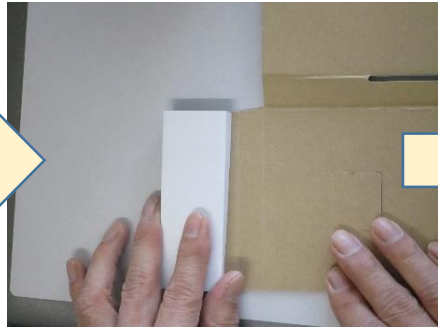
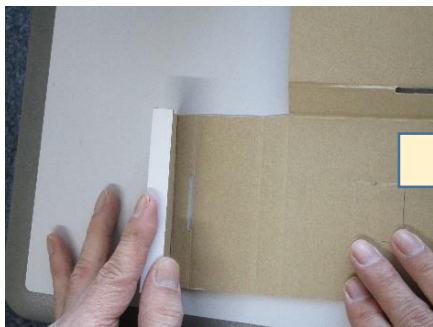
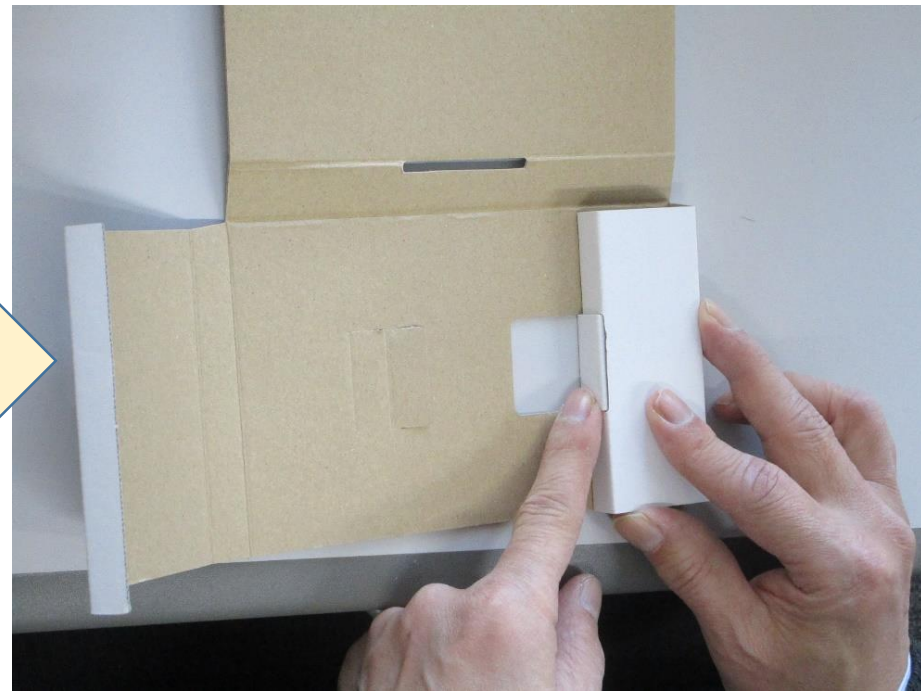
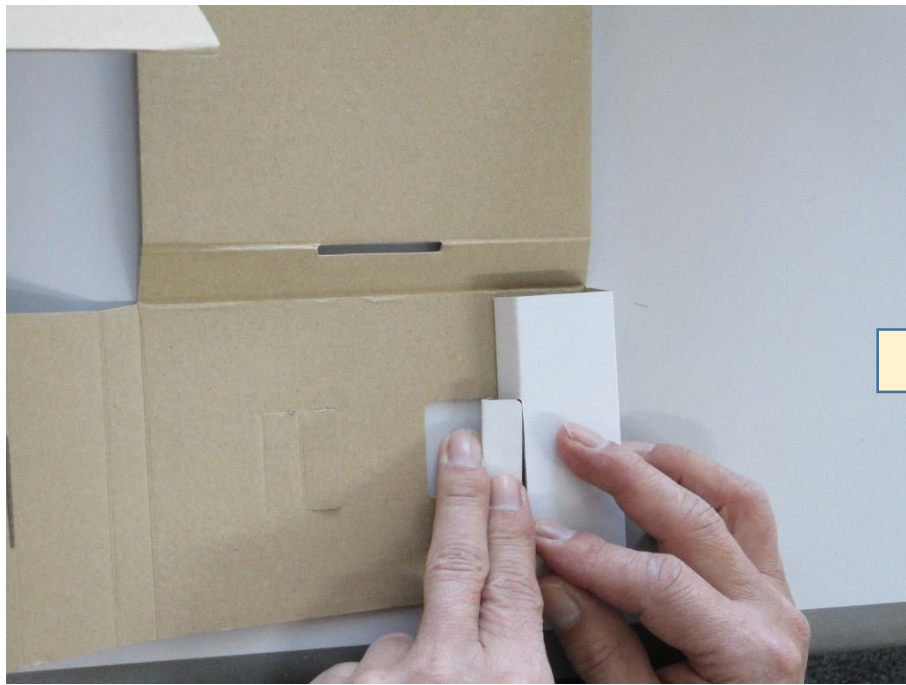


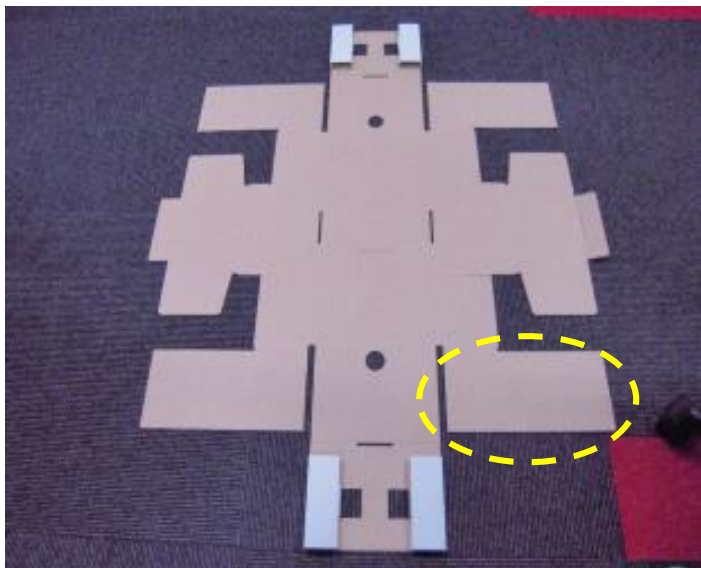
1. はじめに丸印の部分から折ります。
(左右どちらでも良い)端の部分を内側に巻くように罫線に合わせて折る。



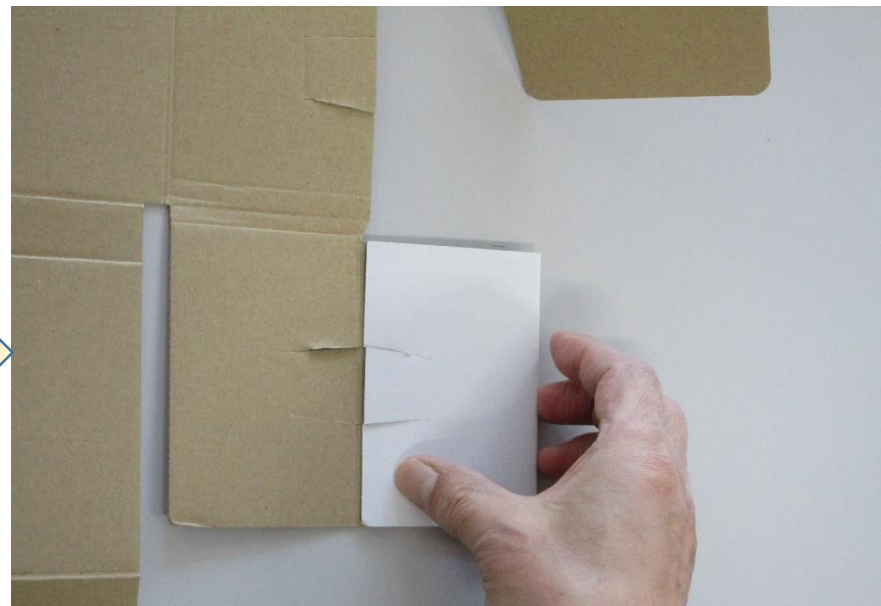
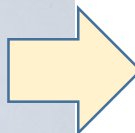
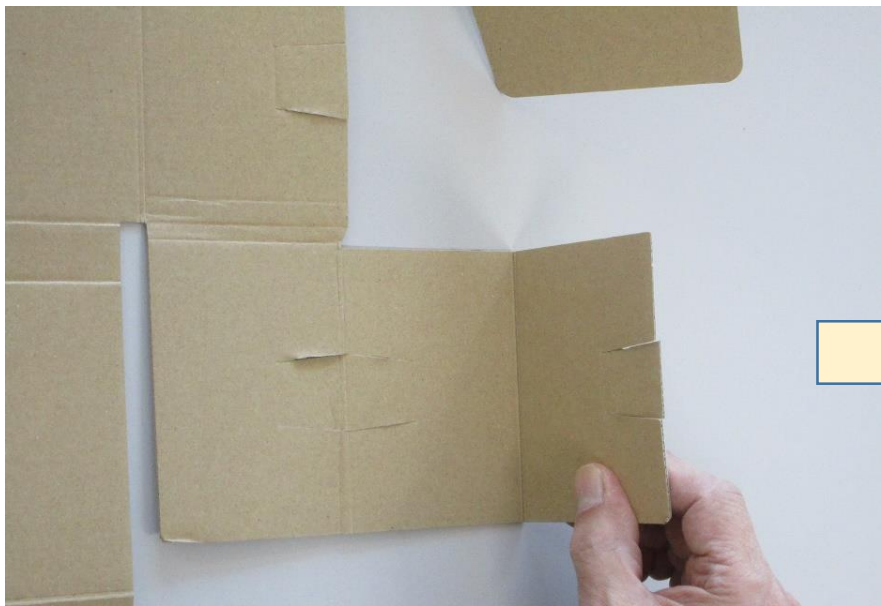


2. 折った部分の穴に、ロック部を下から立ち上げ差し込む。これを計4か所、同様に折る。





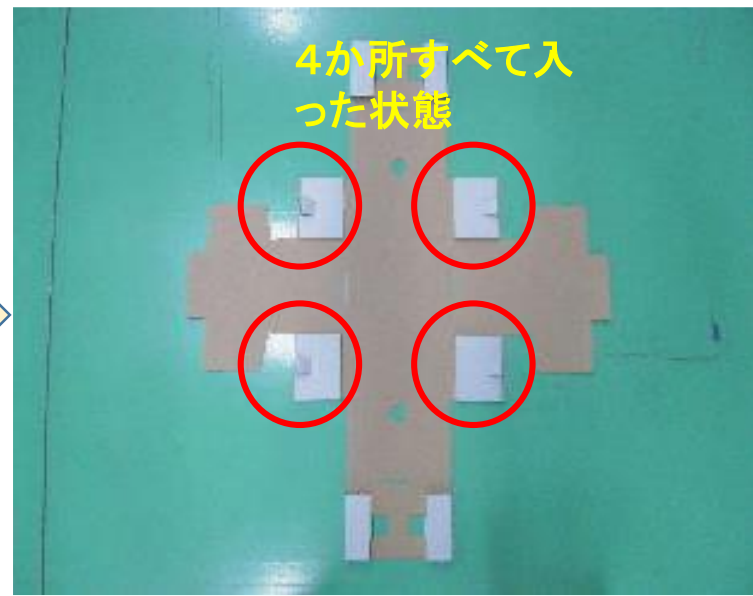
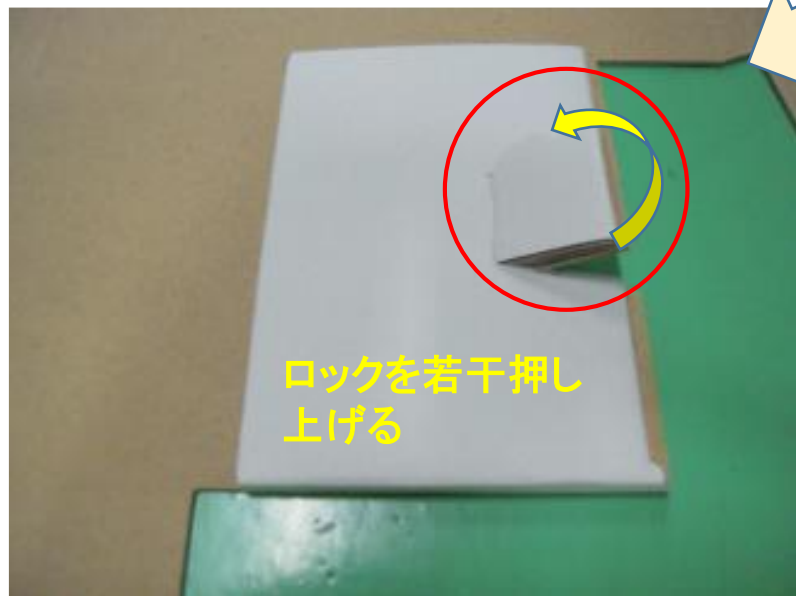
3. 丸印の部分から端から罫線に合わせ内側に折る。



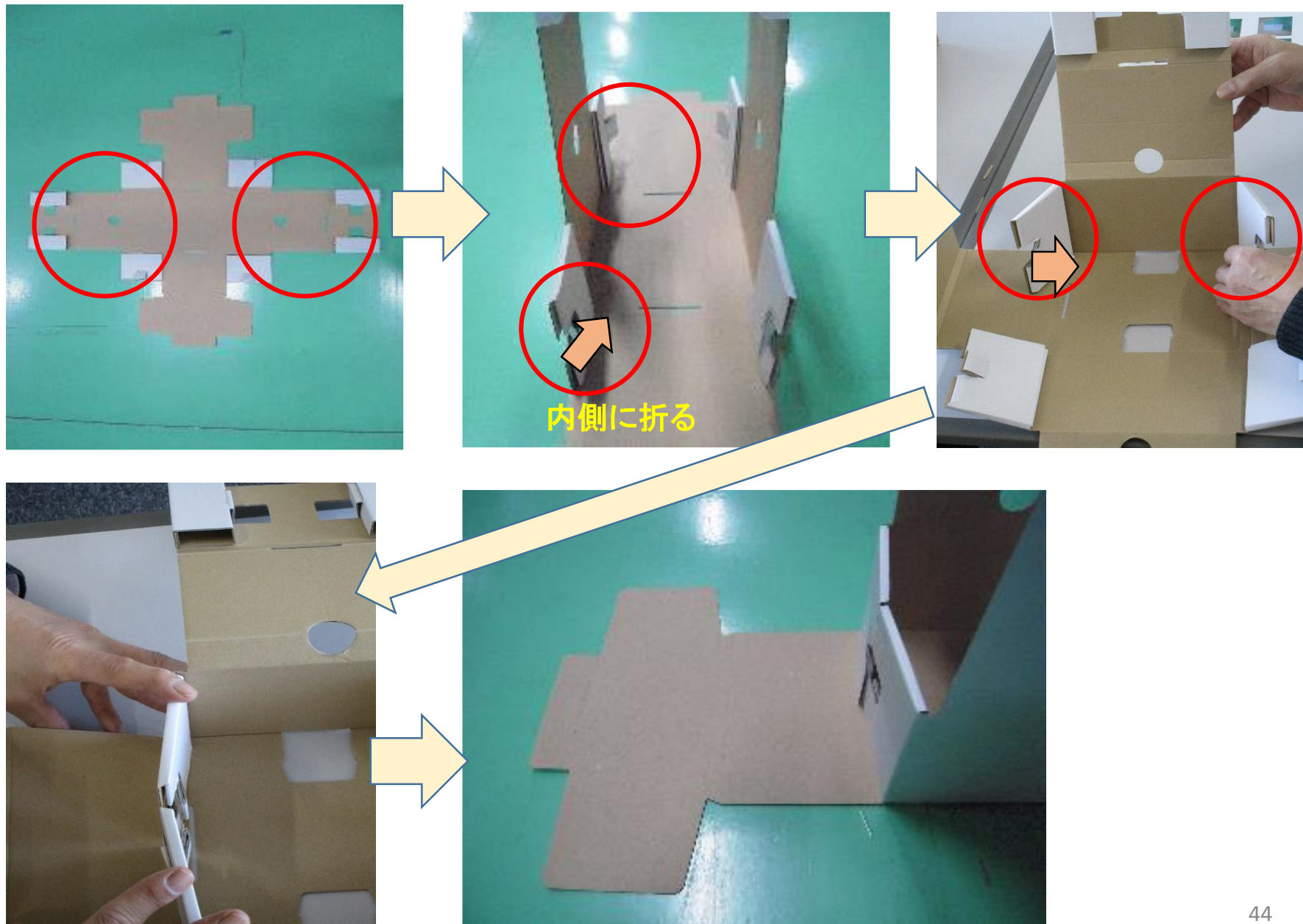
4. 本体中心に向かって罫線に合わせ折る。

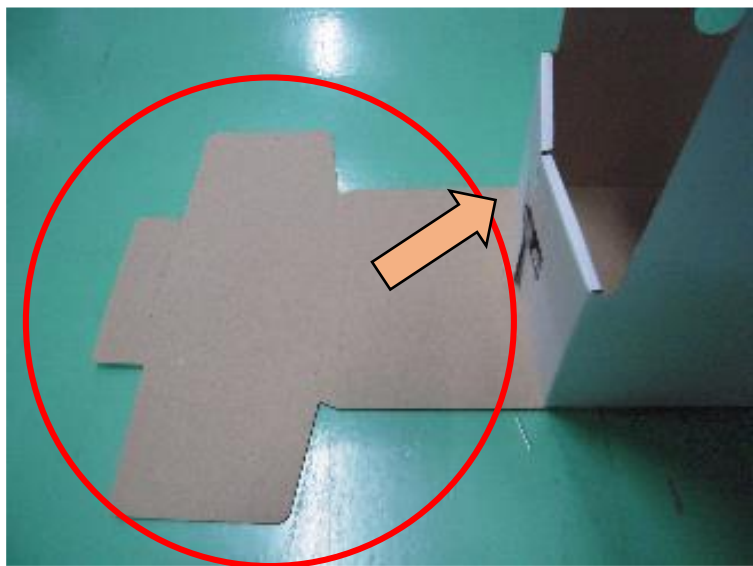


5. ロック部分を下から押し上げロックする。
これを各部、計4か所同様に折る。

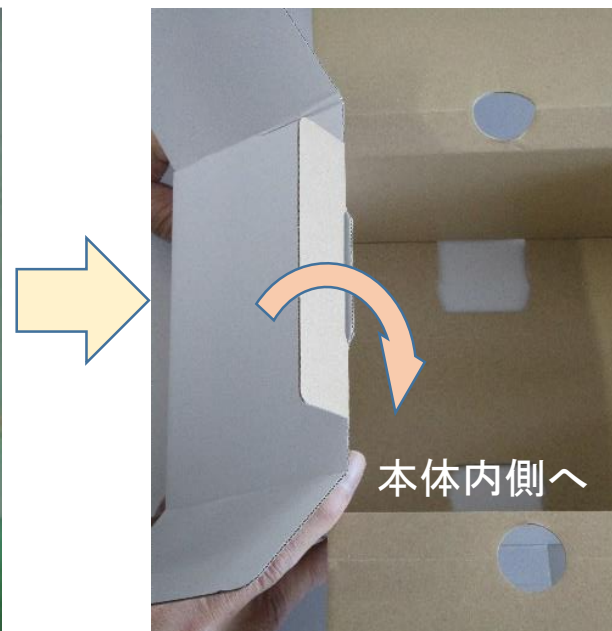
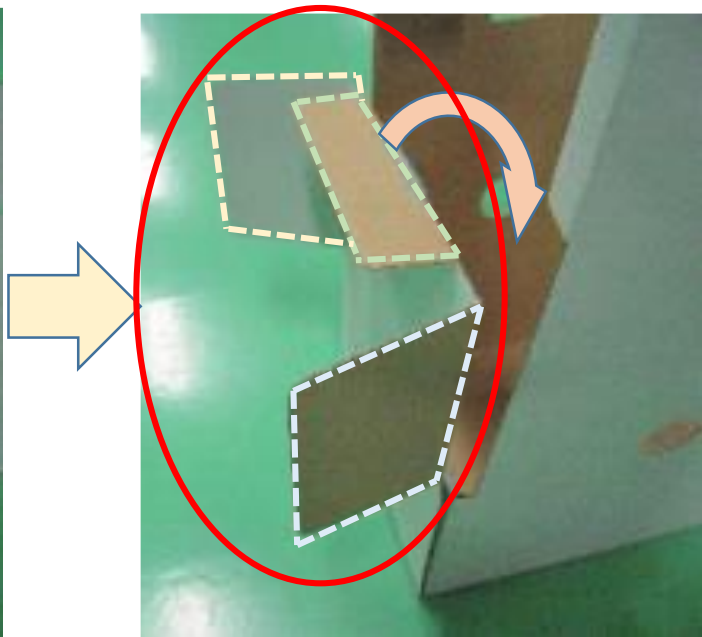
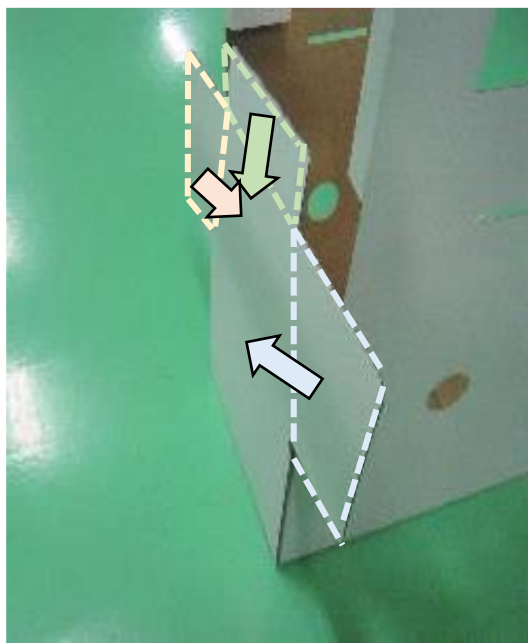


6. ○の部分を持ち上げる。フラップ部分を内側に折る。

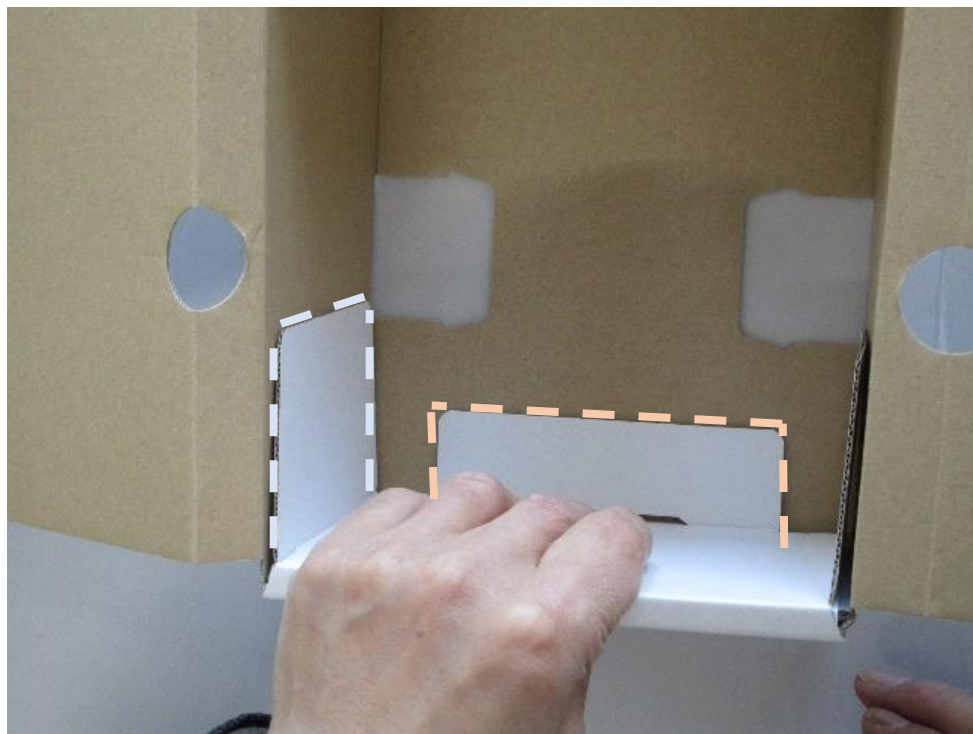
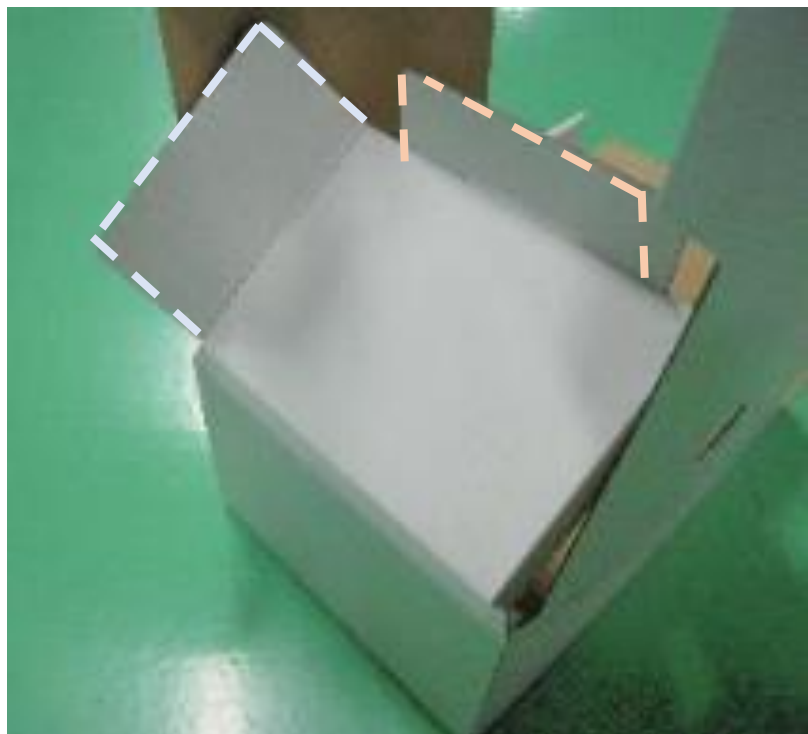




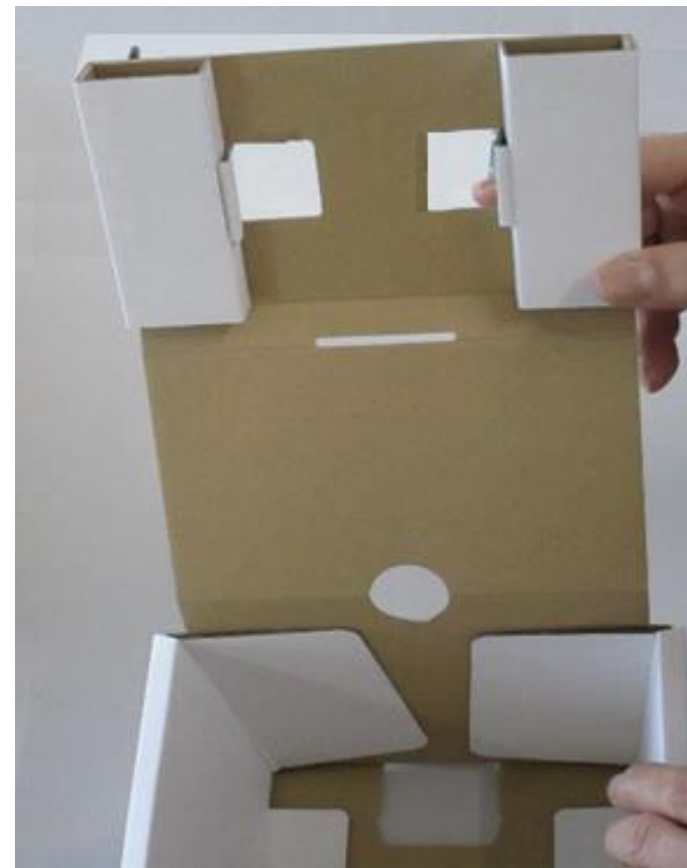
7. ○の部分を持ち上げる。先端を外側に3か所折り、本体内側に折り込む。反対側も同様に折り込む。



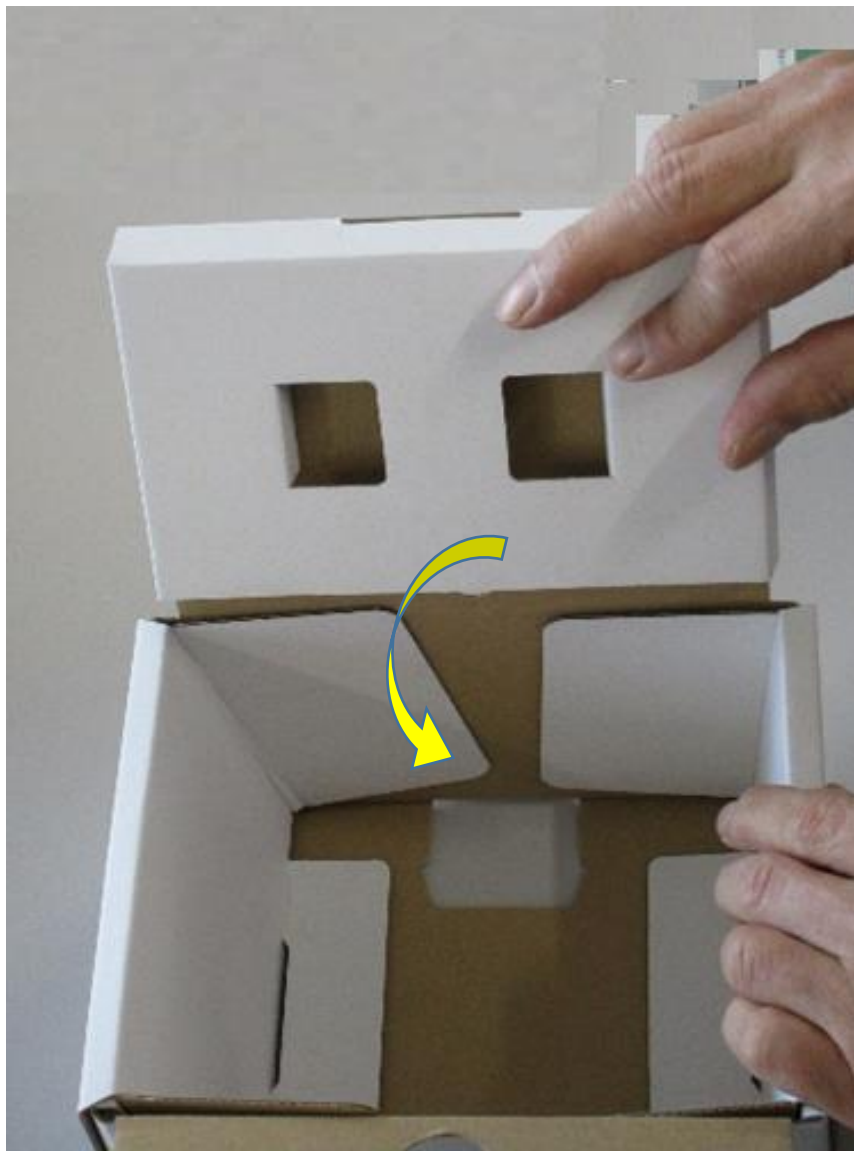
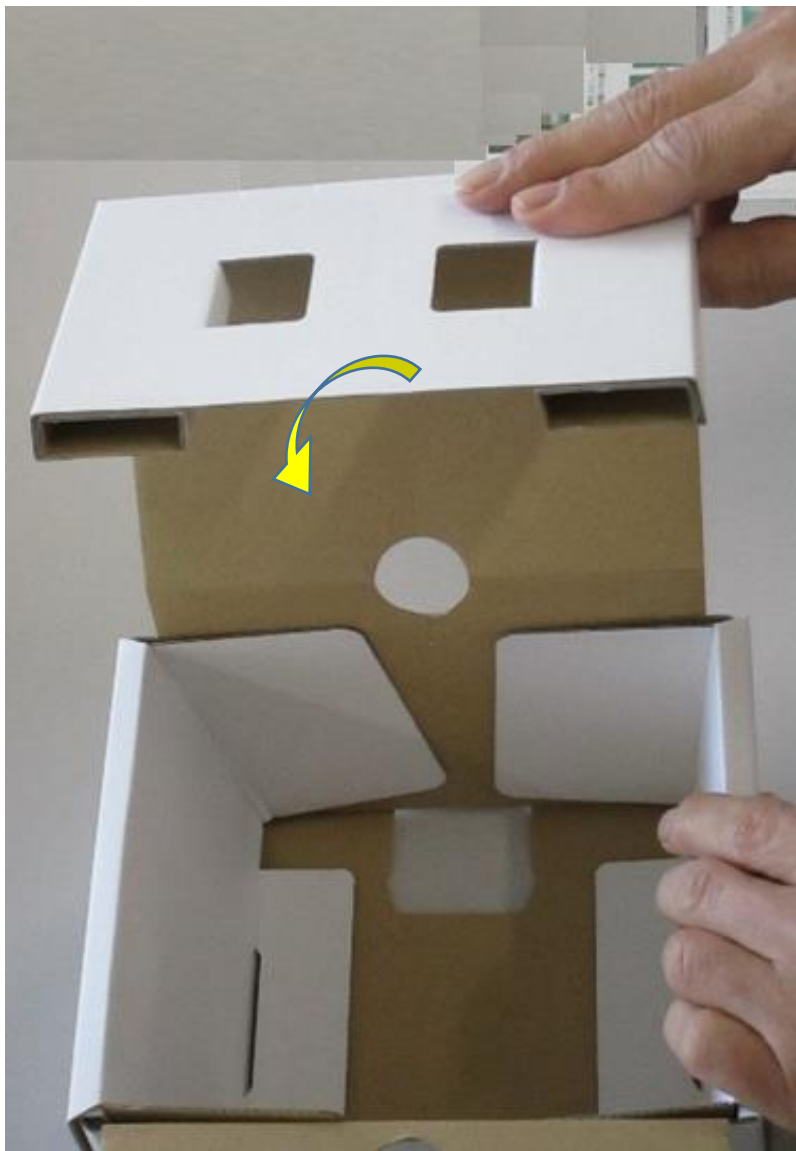
反対側も同様に折り込む



8. フラップ部分を内側に折る作業の次に、端の部分を内側に巻いた部分を罫線に沿って折り曲げる。



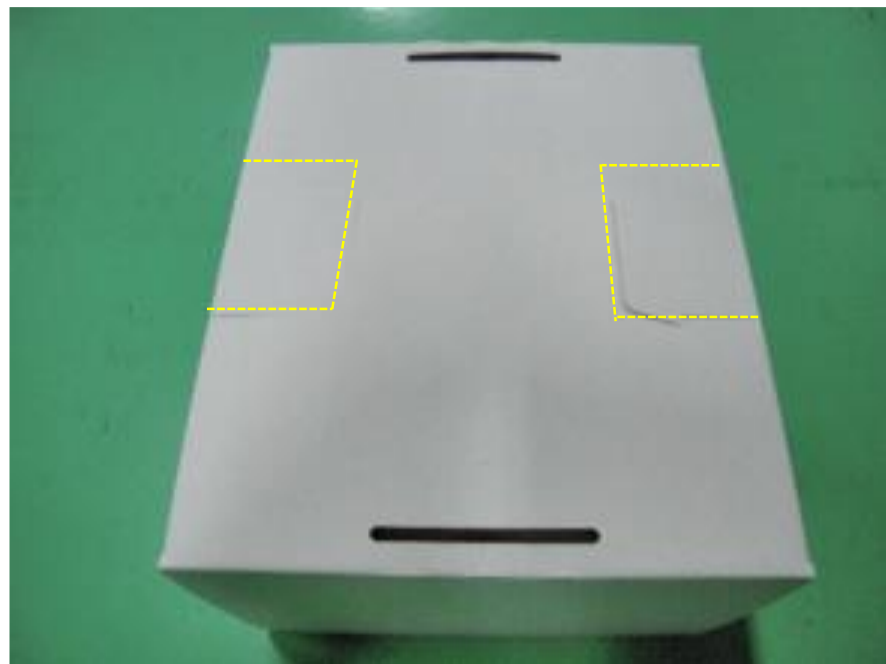
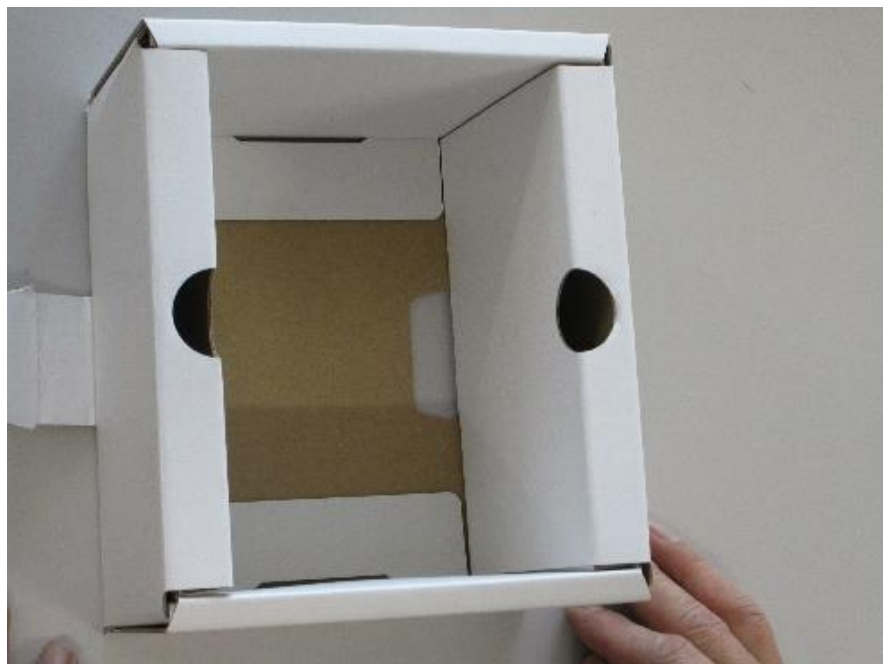
中段も罫線に沿って折り曲げ、箱の底まで巻き込む。



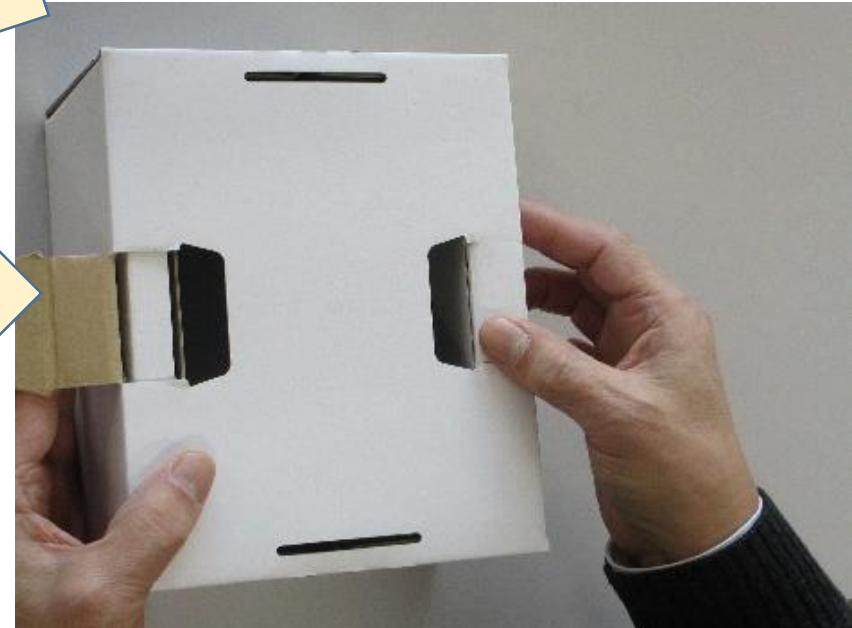
反対側も同様に折り、巻き込む

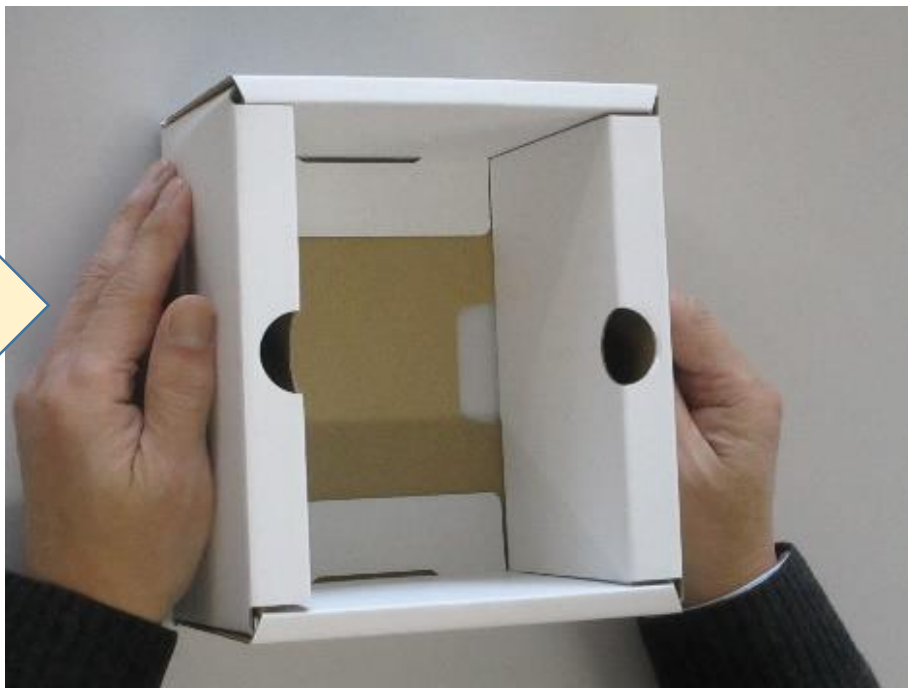
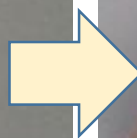
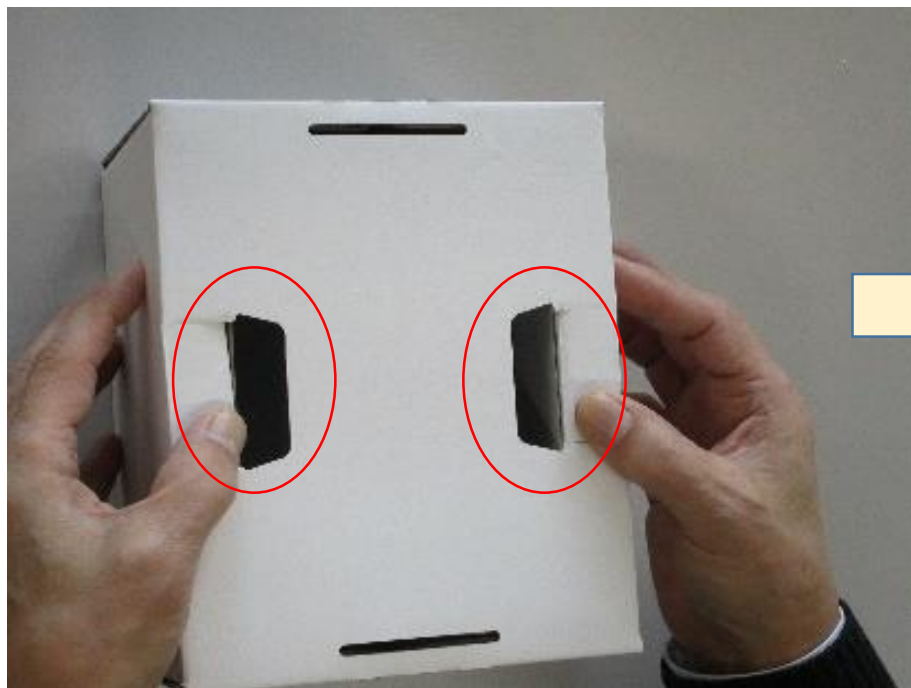


9. 裏(下)側を上にして、ロック部分を裏側から押し出す。



ロック部分を裏から押して、先端を罫線沿って折る。2の穴に挿入する。

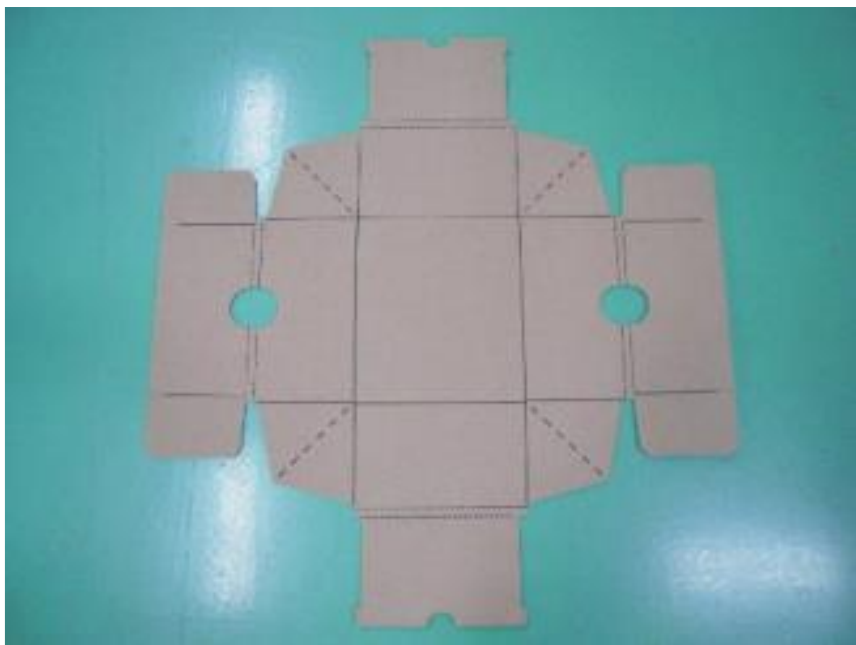




2か所のロックが出来たら、底部を下に向きを変え完成

【競技課題 2】 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

化粧箱蓋展開図



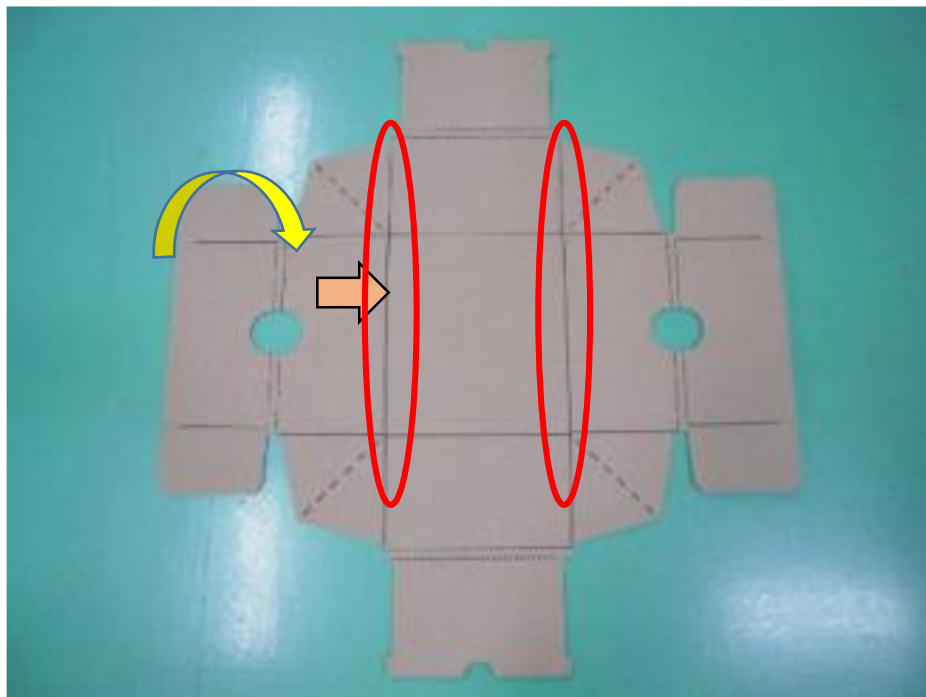
化粧箱蓋完成図



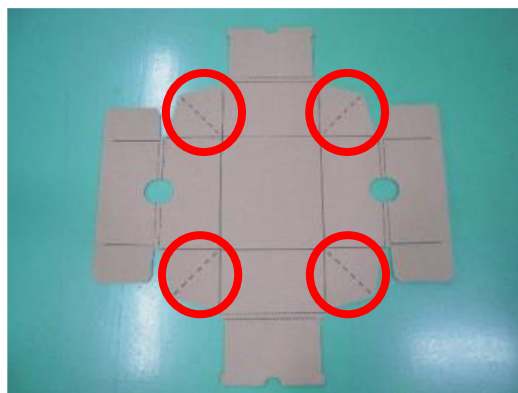
※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります

※競技材料はカットのみの材料です。そのため、くず取り作業が必要となります

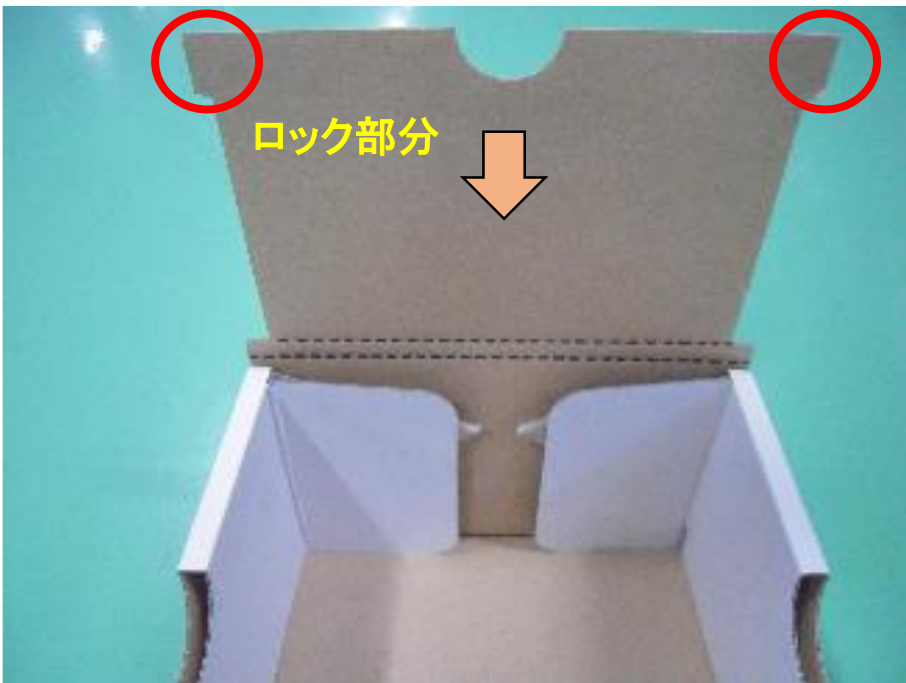
1. ○罫線部分を内側に折り立てる、次に丸抜き部分の罫線を内側に折り、内フラップを内側に折る。



2. 内フラップを内側に折り、その後に、外側フラップのミシン目を内側に折る



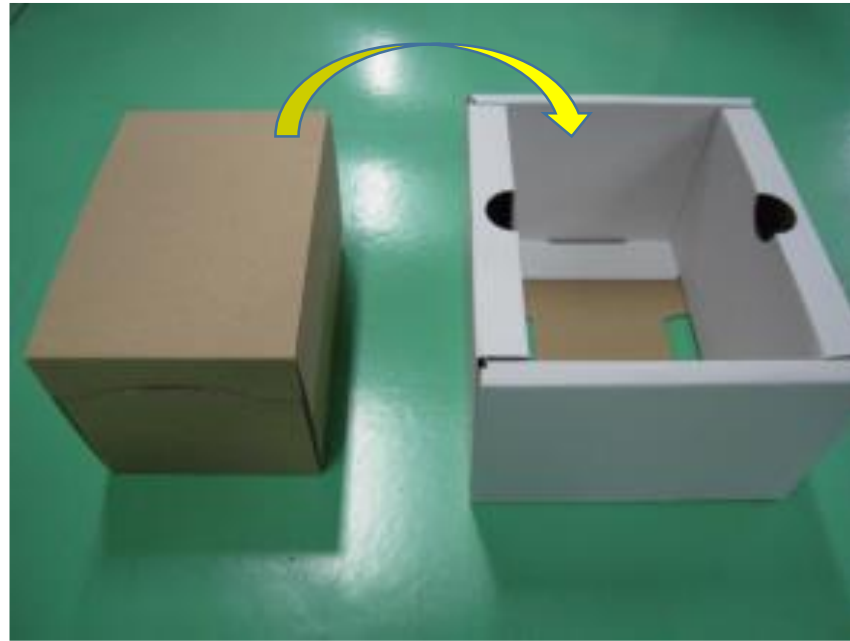
3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を中心に押し込む。



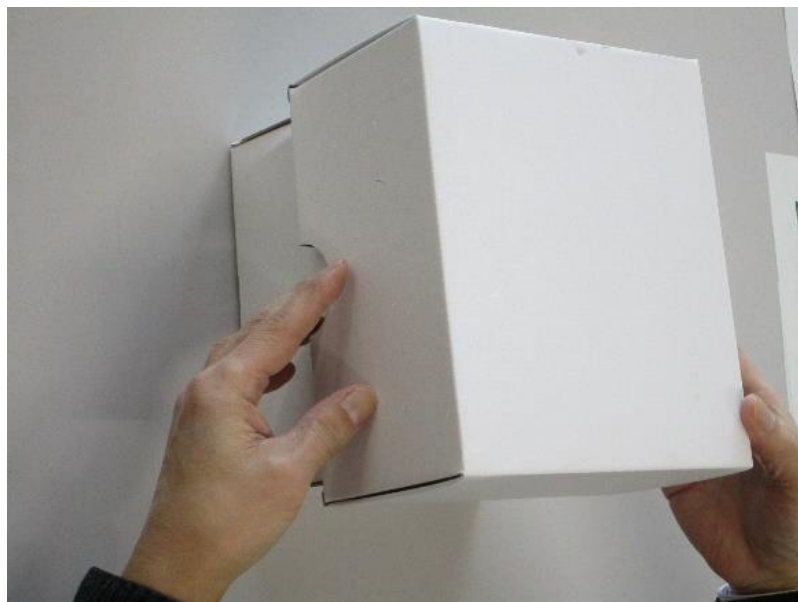
4. 反対側も同様に折り完成。



5. 化粧箱身に小箱が入った中箱を入れる。

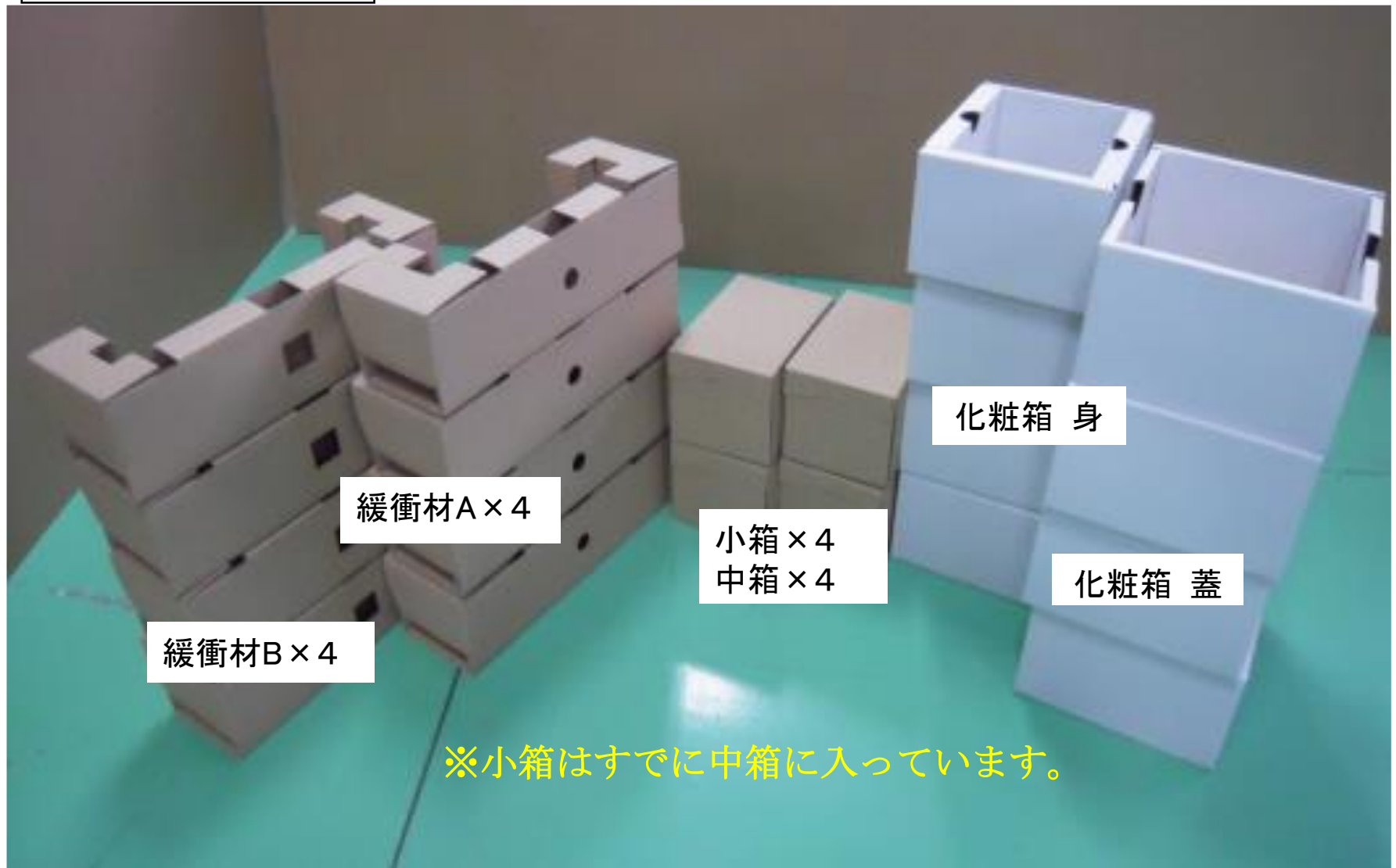


6. 中箱を入れ蓋をする。これを4ケース作成する。

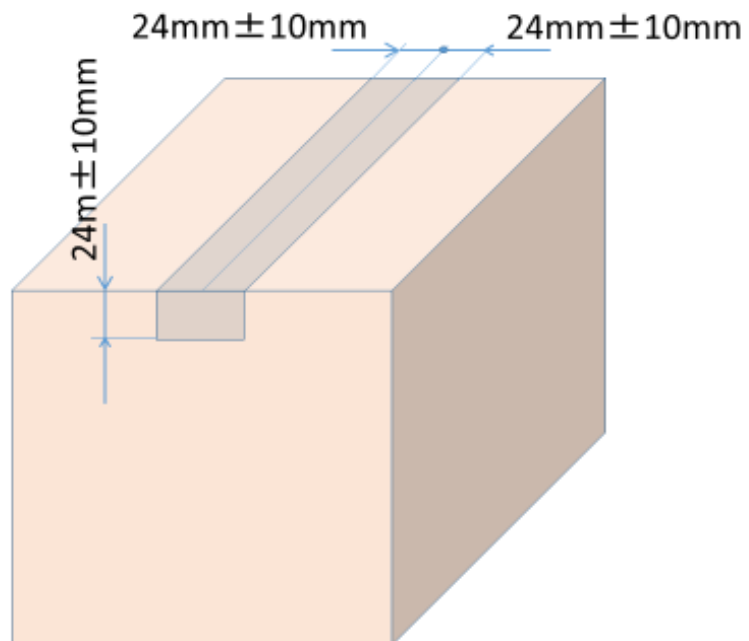


【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

梱包部品一覧

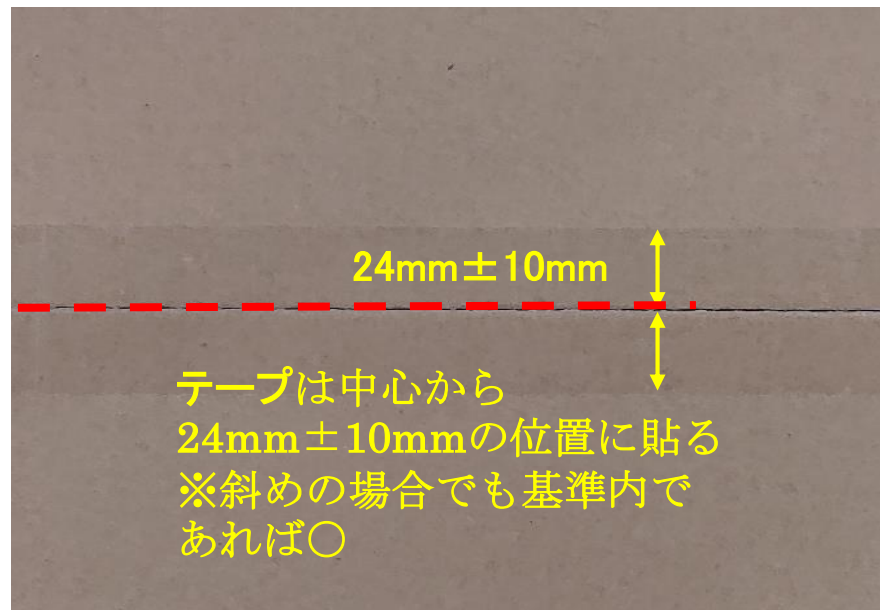
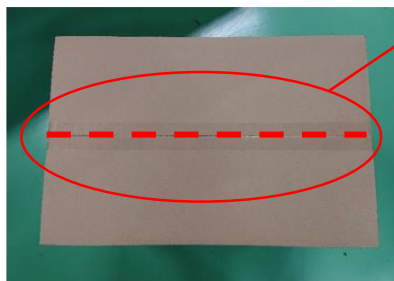
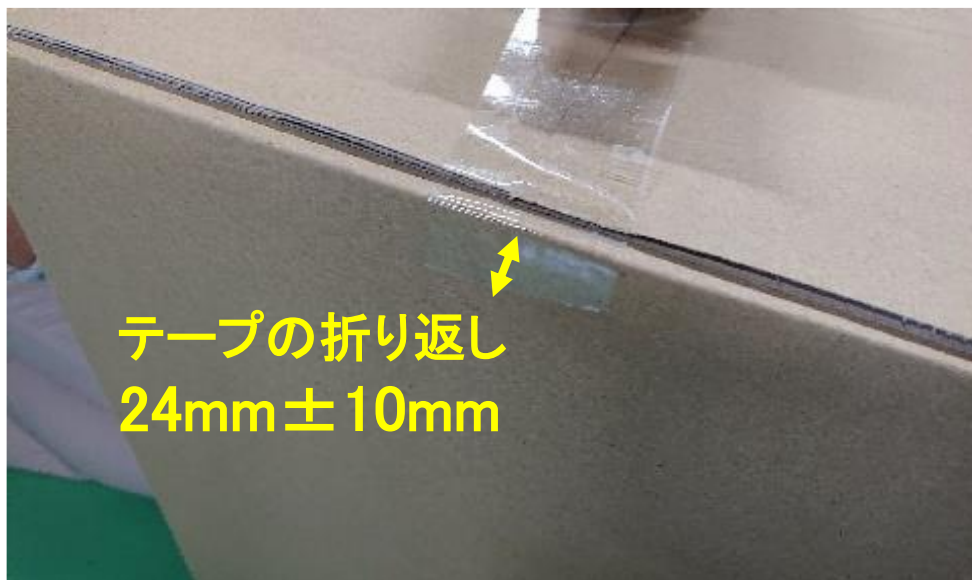


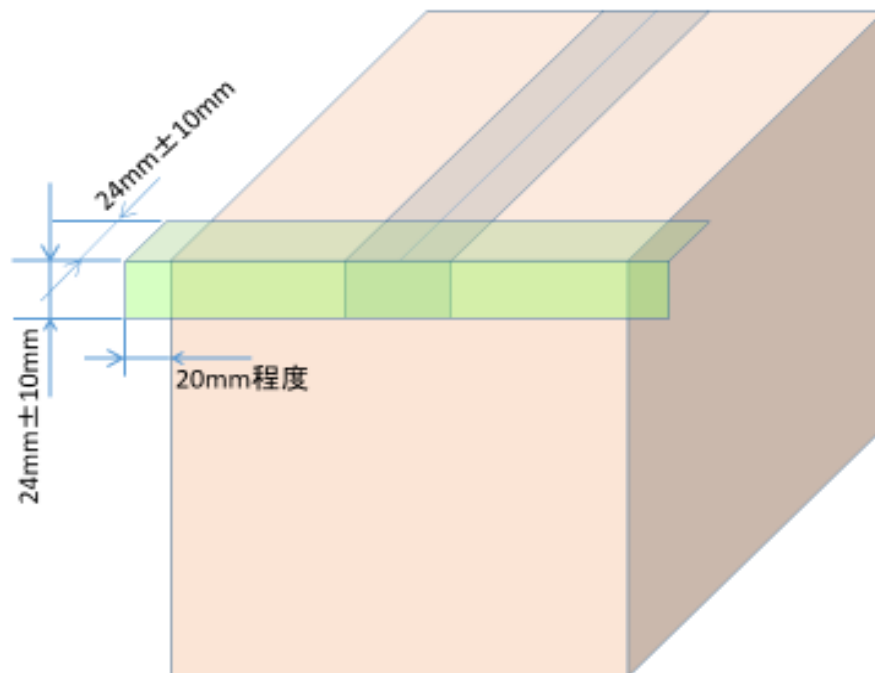
部品を外箱にセットアップし梱包します。

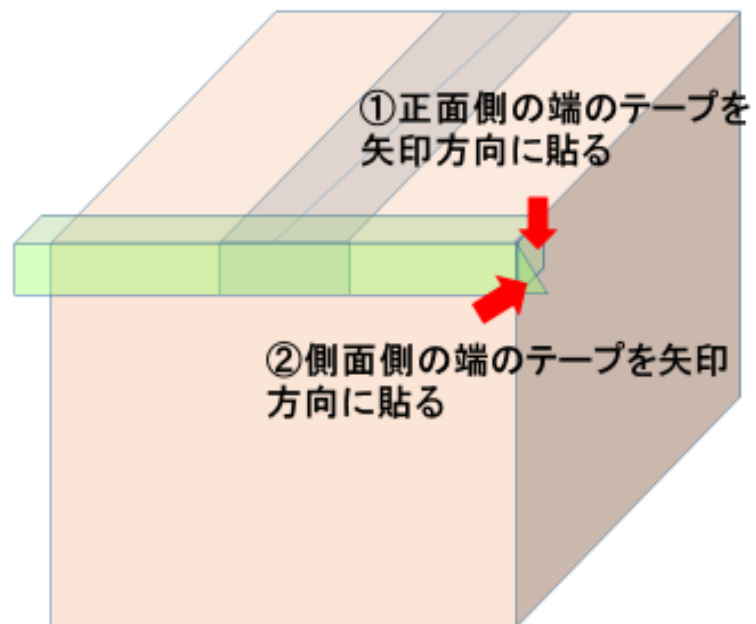


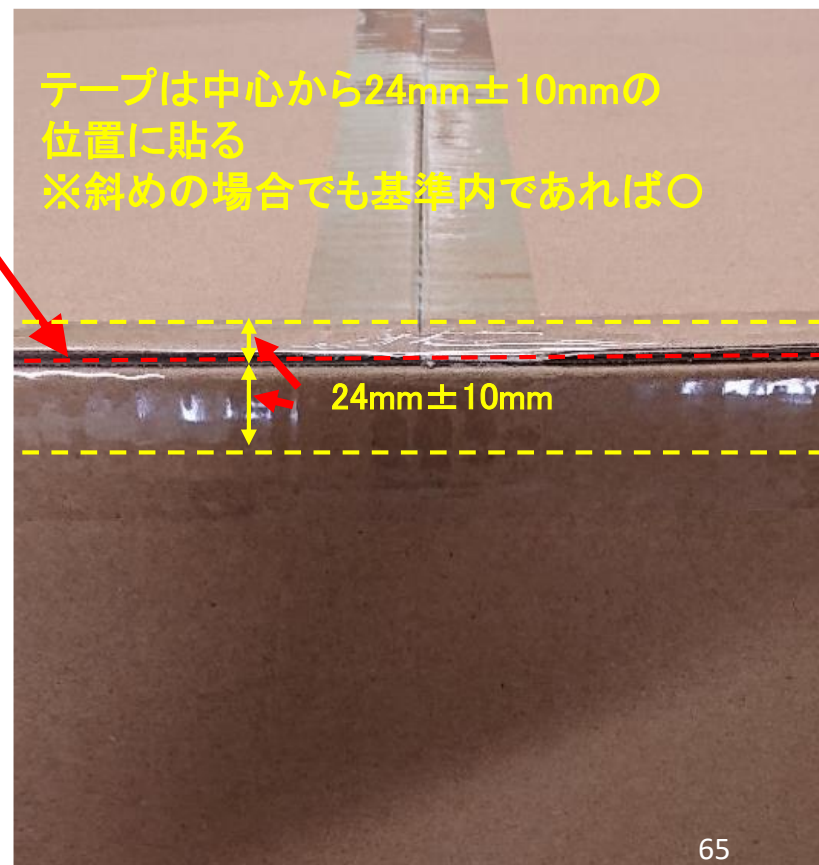
1. 外箱を組立て、底部を上図のように包装テープで貼り封をします。





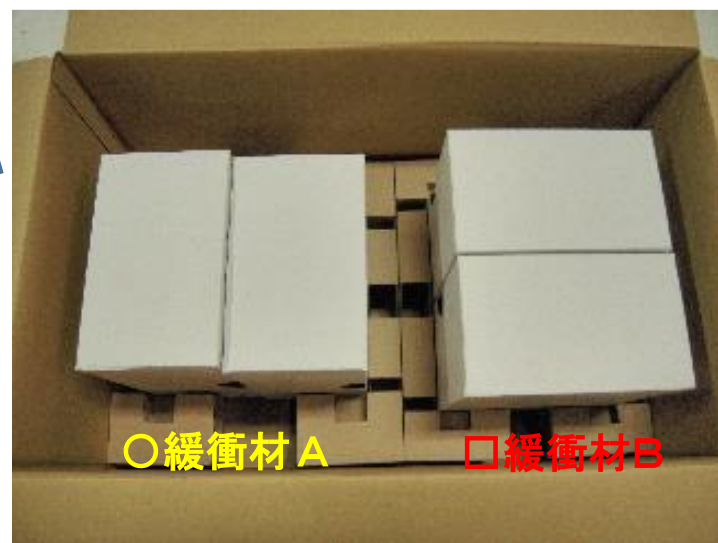
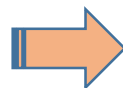






2. 外箱を作成し、その中に緩衝材を○穴または□穴が外側になるように各2ケずつ設置し、化粧箱を入れる。

※緩衝材A側には化粧箱を縦に設置する。



※緩衝材B側には化粧箱を横に設置する。

3. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うようにそれぞれ上に設置する。



4. 外箱の上部を折り敷き紙の上に置く(奈良大会は2梱包) **上部はテープを貼りません**



※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙からはみ出ないように置く事
※敷き紙には製品以外の物を置く事は出来ません